SONY

3-756-740-**04** (1)

CS/BS/TVチューナー

SAT-900TV

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

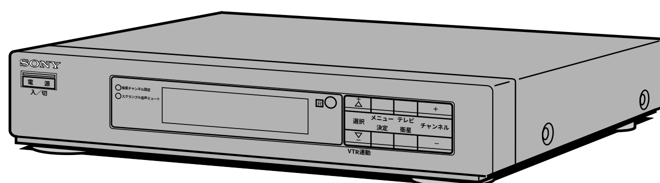


電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目　次

ご自分で設置されるかたは、3ページをご覧ください。



本機の特長

■VHF/UHFに加え、CSとBSが受信可能(アナログ放送用)

従来のTV放送に加え、通信衛星(CS)からのテレビ放送も、放送衛星(BS)からのテレビ放送も、これ1台で受信できます。

■タイマー録画に便利なVTR連動機能搭載

お手持ちのビデオデッキを使って、CS、BSのタイマー録画が8プログラム設定できます。

■メニュー機能搭載

モニターの画面にメニューを出して、各種の調整や設定をすることができます。

■外部デコーダー入力を3系統装備

BSデコーダー、MUSE-NTSCコンバーター、スカイポートデコーダーの3台を接続可能です。

■CS/BS放送の裏録画が可能

VHF/UHF放送を見ながらCS/BS放送を録画できます。

■高品位な画像と音声

- VHF/UHFチューナー部にダブルバランスドミキサー、ガリウム砒素FET、新開発の広帯域SAWフィルター、高性能なビデオローパスフィルターを使用し、高画質化を図っています。
- CS/BSチューナー部には新開発の信号処理IC、8倍オーバーサンプリングデジタルフィルター、アドバンストインターポラティブD/Aコンバーターを採用しました。
- 電源部や信号部の高音質化設計によりVHF/UHF放送の音声もリアルに再現します。

SCCとは

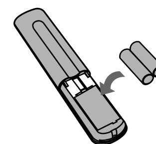
宇宙通信株式会社の略称です。通信衛星スーパーバードを保有しています。

JCSATとは

日本通信衛星株式会社の略称です。通信衛星(通称ビデオバード)の名称でもあります。

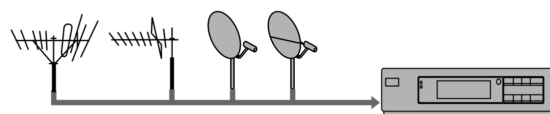
ご自分で設置されるかたは

1 リモコンに乾電池を入れる。（5ページ）



2 アンテナをつなぐ。（16～21ページ）

放送を見るには、アンテナの接続と調整、受信のための設定が必要です。

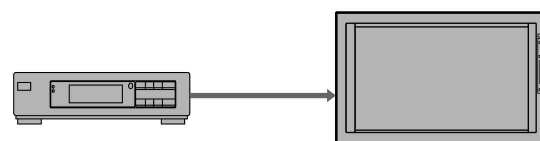


3 デコーダーやコンバーターを接続する。（24ページ）

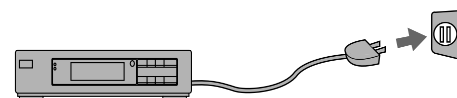
民間BSやCSを見るには、デコーダーが必要です。



4 モニターをつなぐ。（22ページ）



5 電源プラグをつなぐ。



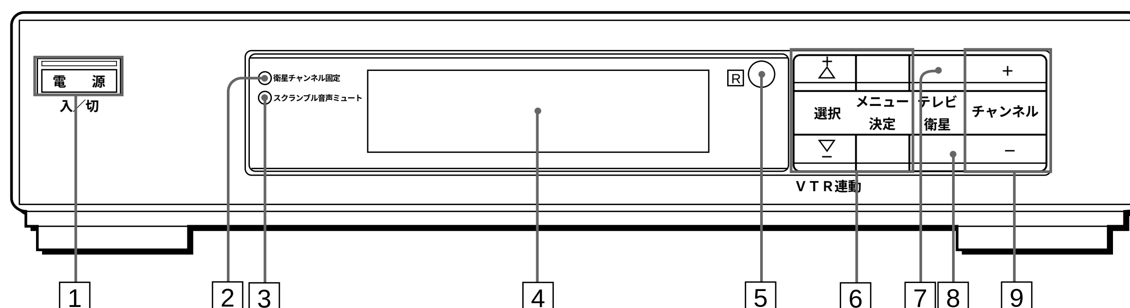
6 チャンネルを設定する。（26～41ページ）

以上の6ステップが終われば、準備は完了です。 

テレビ放送を見る（6ページ）
CS/BSを見る　（8ページ）

各部のなまえと働き

前面



1 **電源スイッチとランプ(6ページ)**
電源を入／切します。
電源が入っているときにランプが点灯します。

2 **衛星チャンネル固定ランプ(7ページ)**
衛星放送のチャンネルが固定されているときに点灯します。

3 **スクランブル音声ミュートランプ**
本機には、衛星放送の中で解除できないスクランブル信号を受信したとき、テレビなどのスピーカーからノイズが出ないように自動的に音を消す機能がついています。この機能が働いているときに点灯します。

4 **表示窓**

5 **リモコン受光部**

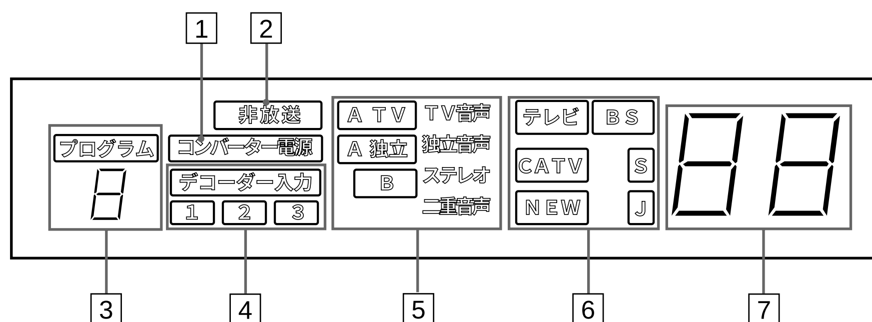
6 **メニューボタン(48ページ)**
メニューを出したり消したりするときに使います。
選択+/−ボタン
メニュー画面で▶を動かしたり、内容を選んだりするときに使います。
選択−ボタンはメニュー画面が出ていないときはVTR連動ボタンとして働きます。
決定ボタン
メニューで、内容を決定するときに使います。

7 **テレビボタン(6ページ)**
VHF/UHFの放送を受信するときに使います。

8 **衛星ボタン(8ページ)**
衛星放送を受信するときに使います。

9 **チャンネル+/−ボタン**
チャンネルを順番に選ぶときに使います。

表示窓



1 **コンバーター電源表示**
裏面のコンバーター電源が外部でショートしているときに点灯します。ショートした場合、コンバーター電源は自動的に切れます。

2 **非放送表示**
CSの電波の中で放送ではない電波を受信したときにこの表示が点灯し、映像と音は出なくなります。

3 **プログラム表示(10〜13ページ)**
プログラムの番号を表示します。
待機状態では次のプログラムの番号を表示し、プログラム実行中は実行中のプログラムの番号を表示します。

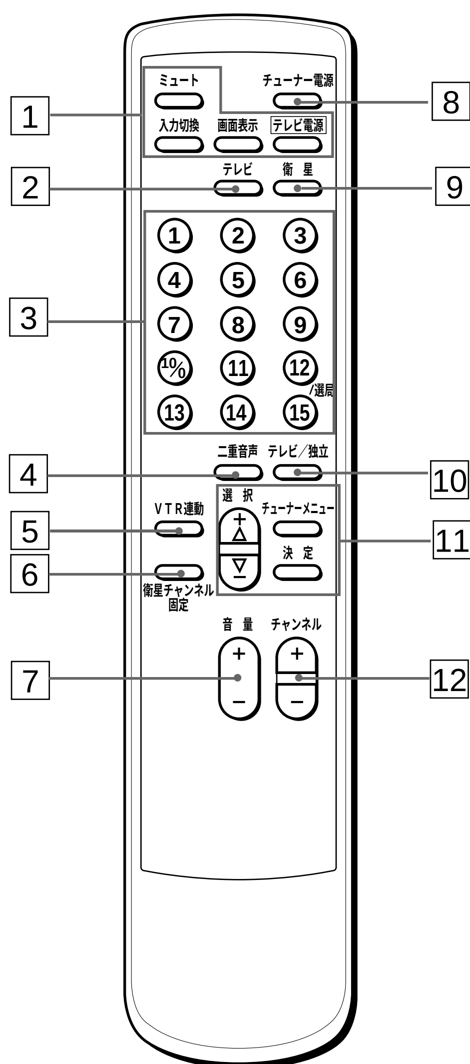
4 **デコーダー入力表示(34〜35ページ)**
裏面のデコーダー入力端子の選択されている入力端子を表示します。

5 **音声表示**
音声の状態を表示します。
A TV/A独立/B　：放送されている音声
TV音声／独立音声：受信している音声
ステレオ　：ステレオ放送を受信しているとき
二重音声　：二重音声を受信しているとき

6 **受信放送表示(8ページ)**
受信している放送を表示します。

7 **チャンネル表示**

リモコン　RM-J136



1 **モニター操作部**

画面表示ボタン　モニター（テレビ）用

モニター画面の表示を出したり消したりするときに使います。（チューナーの画面表示は本機のメニューで操作します。）

ミュートボタン

スピーカーの音声を消します。

入力切換ボタン　モニター（テレビ）用

モニターのビデオ入力を切り換えるときに使います。

テレビ電源ボタン

モニター（テレビ）の電源を入／切するときに使います。

2 **テレビボタン（6 ページ）**

VHF/UHFの放送を見るときに使います。

3 **チャンネル数字ボタン（6ページ）**

チャンネルを選ぶときに使います。

4 **二重音声ボタン**

二重音声放送時に使います。押すたびに主→副→主副と換わります。

5 **VTR連動ボタン（10～13ページ）**

VTR連動機能を使ってタイマー録画するときに使います。

6 **衛星チャンネル固定ボタン（7ページ）**

衛星放送のチャンネルを固定するときに使います。

7 **音量＋/－ボタン（モニター用）**

8 **チューナー電源ボタン（6ページ）**

本機の電源を入／切するときに使います。

9 **衛星ボタン（8ページ）**

衛星放送を受信するときに使います。

10 **テレビ／独立ボタン（9ページ）**

衛星放送の音声を選ぶときに使います。

11 **チューナーメニューボタン（48ページ）**

メニューを出したり消したりするときに使います。

選択＋/－ボタン

メニューで、▶を動かしたり、内容を選んだりするときに使います。

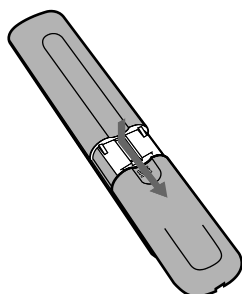
決定ボタン

メニューで、内容を決定するときに使います。

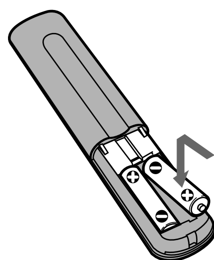
12 **チャンネル＋/－ボタン**

電池の入れかた

1



2



電池の寿命は、通常の使用で約6か月です。リモコン操作が効かなくなり始めたら寿命ですので、新しい電池とお取り替えください。

乾電池使用上のご注意

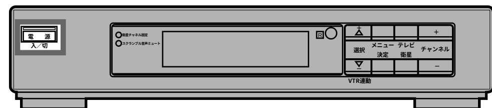
乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂の恐れがあります。
必ず次のことをお守りください。

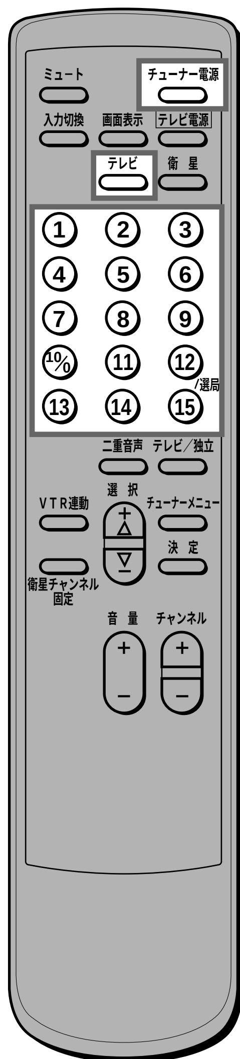
- ＋と－の向きを正しく入れてください。
- 新しい乾電池と使用済みの乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は充電できません。
- 1か月以上リモコンを使うことがない場合は、乾電池を取り出しておいてください。
- 万一、リモコンの中で液もれが起こったときは、中についた液をよく拭き取ってから、新しい乾電池を入れてください。

リモコン取り扱い上のご注意

- 本機を操作するために必要なボタンがついていますので、なくさないようにしてください。
- 落としたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光が当たるところ、暖房器具のそばの温度の高いところ、湿気の多いところには置かないでください。
- 本機のリモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。リモコンで操作できなくなる場合があります。

テレビ放送(VHF/UHF)を見る





テレビ放送を見るには次の準備が必要です。

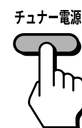
・VHF/UHFアンテナの接続をしてください。(16ページ)

・モニターの電源を入れ、本機からの画像が見られるように入力を切り換えてください。

・UHFやCATVを見るには、あらかじめチャンネル設定が必要です。

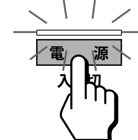
1 電源スイッチを押す。

(リモコン)



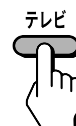
または

(本体)

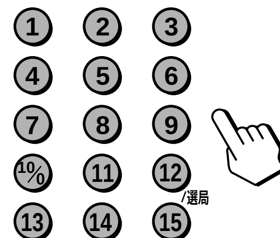


電源が入るとランプが点灯します。

2 テレビボタンを押す。



3 チャンネルを選ぶ。



チャンネル+/−ボタンを押すと
チャンネル数字ボタンの1〜15のうち、見られるチャンネルを順番に選ぶことができます。

見たいチャンネルが15を超えるときは
チャンネルの選局方法を「10キー選局」に切り換えてください。(40ページ)

CATV(ケーブルテレビ)放送について
CATV放送は、サービスの行われている地域のみで視聴することができます。視聴するためには、ケーブルテレビ放送会社との契約手続きが必要です。詳しくはケーブルテレビ放送関係者各社にお問い合わせください。

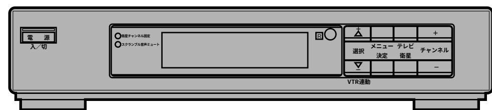
ステレオ放送について
お買い上げの時は、ステレオ放送が始まると自動的に音声がステレオになるように設定されています。

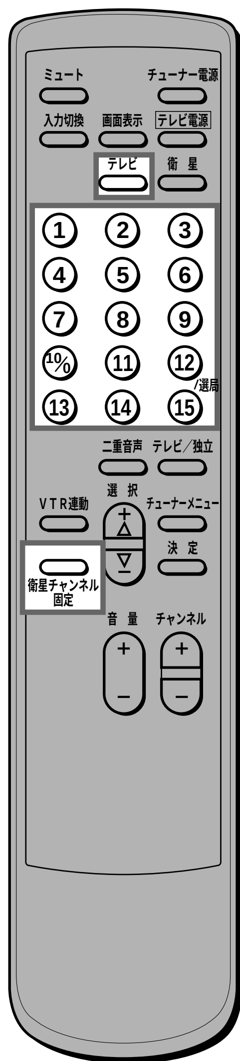
雑音が多く、ステレオで聞きにくいとき
VHF/UHFのステレオ放送は、音声をモノラルにして雑音を軽減することができます。

1 メニューボタンを押し、メニューを出す。
2 選択+/−ボタンを押して▶を「各種設定1」に移動し、決定ボタンを押す。
3 選択+/−ボタンを押して▶を「オートステレオ」に移動し、決定ボタンを押す。
4 選択+/−ボタンを押して「切」を出し、決定ボタンを押す。
5 メニューボタンを押し、メニューを消す。
これで音声はモノラルになり、雑音が少なくなります。

ご注意
「オートステレオ」を「切」にするとVHF/UHFのすべてのチャンネルの音声がモノラルになります。ステレオでお聞きになるためには、「オートステレオ」を「入」に戻してください。

VHF/UHFを見ながらCS/BSを録画する（裏録画）

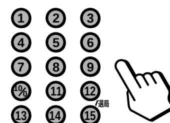


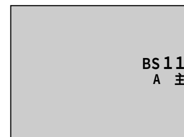


CS/BS放送を見ながらVHF/UHFのテレビ放送を録画する場合は
ビデオデッキのチューナーでVHF/UHF放送を受信して録画してください。

1 録画したい番組を映す。

必要に応じて音声（テレビ・独立、主・副・主副）を選びます。



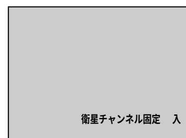


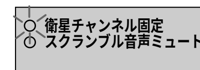
独立音声を録音するときはテレビ／独立ボタンで独立音声を選ぶ。
スクランブルのかかった放送のときは、デコーダー側で独立音声を選んでください。

2 衛星チャンネル固定ボタンを押す。

CS/BS放送のチャンネルが固定されて、ほかのチャンネルに切り換わらなくなります。

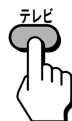




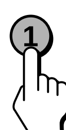


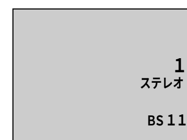
3 ビデオデッキで録画を始める。

4 見たい番組に切り換える。



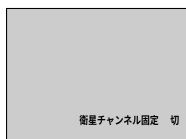


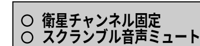




録画が終ったら
衛星チャンネル固定ボタンを押して、チャンネル固定を解除する。
チャンネル固定を解除しないと、CS/BSのチャンネルを換えることができません。

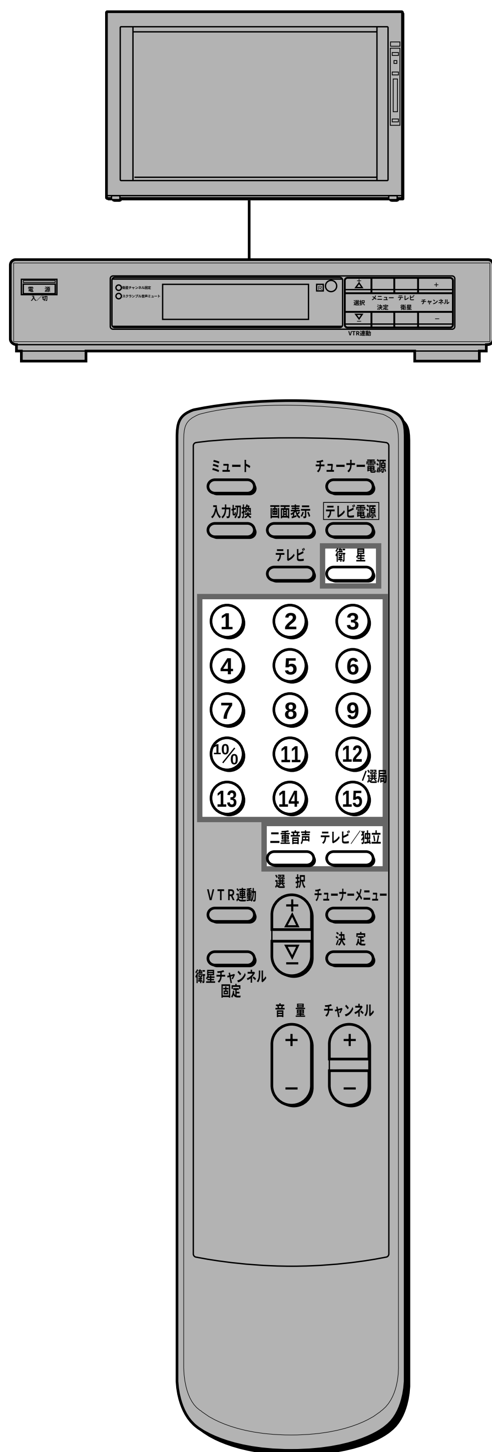






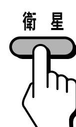
CS/BSを見る

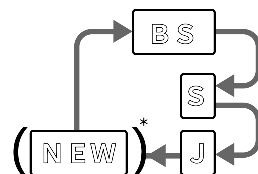
CS/BSの概要については49ページをご覧ください。
CS/BSを見るには次の準備が必要です。
- CS/BSアンテナの接続（18～19ページ）
- CS/BSアンテナの調整（20～21ページ）
- デコーダーの接続（24ページ）
- コンバーター電源などの設定（36～37ページ）



1 衛星を選ぶ。

衛星ボタンを押すごとに［BS］→［S］→［J］→（［NEW］）*の順に切り換わります。



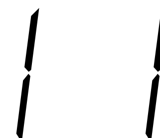


* ［NEW］は衛星設定で「入」にすると表示されます。

2 チャンネルを選ぶ。



BS



チャンネルボタンを押したときにデコーダー入力に切り換えるための設定は、「CS/BSチャンネルを設定する」34ページをご覧ください。

スクランブルとは

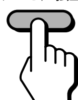
映像・音声の信号を暗号化することです。民間衛星放送などでは、契約者以外には視聴できないように、電波にスクランブルをかけて（暗号化して）送信しています。スクランブルのかかった放送を視聴するためには、それぞれの解読器（デコーダー）が必要です。

3 音声を選ぶ。

スクランブルのかかった音声の場合は、デコーダー側で操作してください。

1 独立音声放送のときは、テレビ音声または独立音声を選ぶ。

テレビ／独立

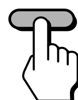


A TV

A 独立

2 音声多重放送のときは、主音声または副音声を選ぶ。

二重音声



ボタンを押すごとに、「主」→「副」→「主副」と切り換わります。
選んだ音声が放送されていない場合は、放送されている音声になります。

民間BS（WOWOWなど）やCSを見るには

スクランブルのかかった民間BSやCSを見るには、放送局と契約を結び、デコーダーを受け取ってスクランブルを解除する必要があります。

1 チャンネルボタンを押し、民間BSまたはCSのチャンネルを選ぶ。

2 デコーダーの電源を入れる。

テレビ／独立、二重音声（主、副、主副）の切り換えは
デコーダー側で行ってください。

1996年1月現在、独立音声放送はBS5チャンネル（St.GIGA）でのみ放送されています。（St.GIGAは、WOWOWとは別に受信契約が必要です。）

画像が乱れるときは
アンテナの向きが合っていない可能性があります。「CS/BSアンテナを調整する」（20ページ）をご覧になり、アンテナを調整してください。

BS9チャンネルについて
1996年1月現在、BS9チャンネルではMUSE方式ハイビジョン実用化試験放送が行われています。ハイビジョン放送をご覧になるには、MUSE-NTSCコンバーターが必要です。接続方法については24ページをご覧ください。

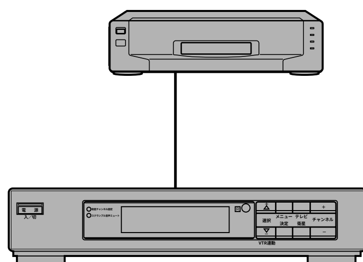
拡張チャンネル（SC12～22、JC16～30チャンネル）を受信するときは
39ページをご覧ください。

デコーダーの接続については
24ページをご覧ください。

ご注意
CSデコーダーには、CSのスクランブル（暗号）方式によって、スカイポート方式とコアテック方式の2種類があります。
CSデコーダーをお買い求めの際は、見たいCSチャンネルのスクランブル方式を確認してください。
BSデコーダーをコアテック方式のCSデコーダーとして使用することもできます。（サテライト放送センター発表）

ご注意
受信契約後、初めてCSを見るときは、スクランブルの解除に10分～1時間かかる場合があります。チャンネルをそのままにしてお待ちください。

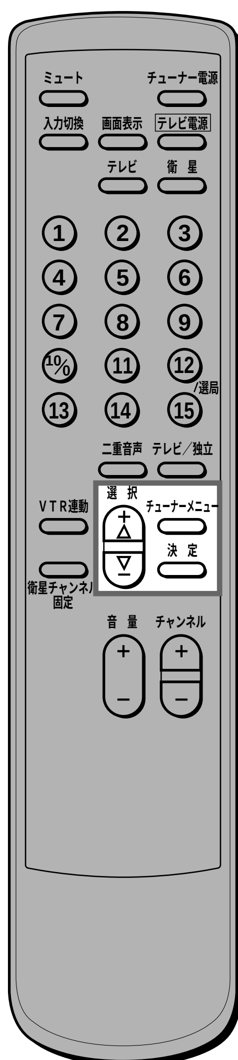
CS/BSをタイマー録画するには－VTR連動



お手持ちのビデオデッキの電源プラグを本機のVTR専用ACアウトレットにつないでおくと、ビデオデッキに電源が入ったときに本機にも電源が入るようにできます。ビデオデッキでタイマー予約をしておけば、衛星放送の予約録画ができます。

VTR連動とは

ビデオデッキの電源が入ったことを感知してチューナーにも電源を入れる機能です。ソニー製のCS/BSチューナーなどに搭載されています。タイマー内蔵ビデオデッキを使って、衛星放送のタイマー録画ができます。



タイマー録画操作の流れ

1 **まず、本機とビデオデッキを正しく接続する。（22ページ）**

2 **ビデオデッキで録画予約の操作をする。**
録画時間の設定・外部入力への切り換え・テープを入れるなどしてください。

3 **メニュー画面で、録画予約に合わせてプログラムを設定する。（10～13ページ）**

4 **VTR連動を働かせる。**

ご注意

電源入／切時の消費電力の差が少ないビデオデッキなど、ビデオデッキの種類によっては正常にVTR連動予約録画ができない場合もあります。
その場合は、市販のオーディオタイマーなどをお使いください。

ご注意

本機はビデオデッキの電源入／切に合わせて、プログラムを実行しています。録画したい番組が連続している（はじめの番組が終わる時刻に次の番組が始まる）ときはビデオの電源が切れないので、チャンネルを切り換えることはできません。

例　3時から4時にBS11チャンネル、4時から5時にS7チャンネルを予約したいとき

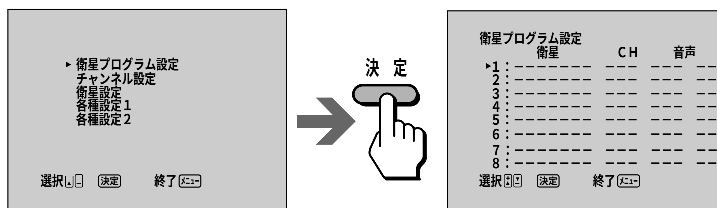
3時から3時59分にBS11、4時から5時にS7というように予約してください。（ただし、3時59分から4時までのBS11チャンネルの録画はできません。）

プログラム設定のしかた

1 **チューナーメニューボタンを押す。**

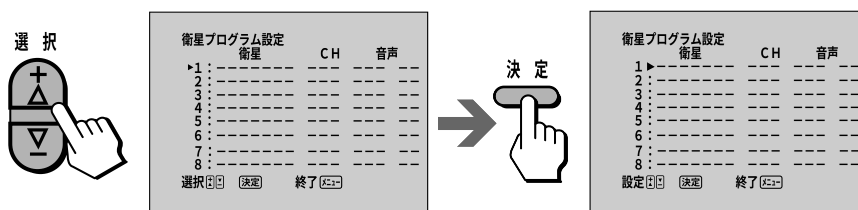
メニューが出ます。

2 **▶が「衛星プログラム設定」にあることを確認し、決定ボタンを押す。**



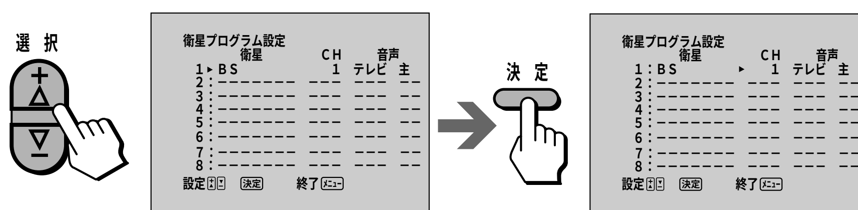
「衛星プログラム設定」の画面が出ます。

3 **選択＋/－ボタンを押して、▶を設定するプログラムの番号に移動して、決定ボタンを押す。**



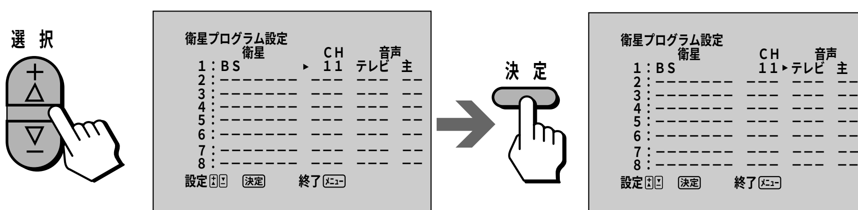
▶が「衛星」に移動します。

4 **選択＋/－ボタンを押して、設定したい衛星が出たら決定ボタンを押す。**



▶が「CH」に移動します。

5 **選択＋/－ボタンを押して、設定したいチャンネルが出たら決定ボタンを押す。**



▶が「音声」に移動します。

（次ページにつづく）

VHF/UHF放送を録画予約するには

1 ライン出力2端子をビデオデッキにつなぐ。
つなぎかたは、22ページをご覧ください。

2 本機でVHF/UHF放送の録画したいチャンネルを選ぶ。
チャンネルの選びかたは6ページをご覧ください。

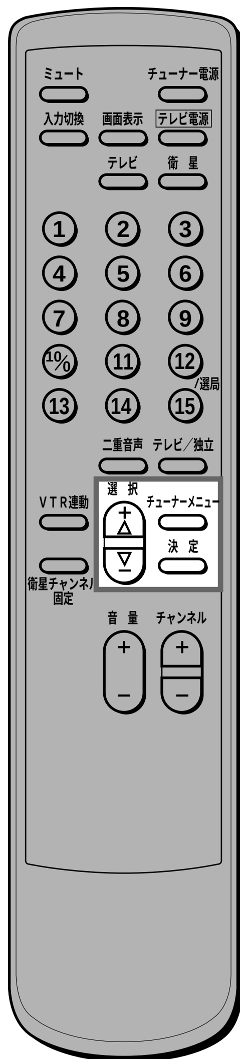
3 衛星プログラム設定の項目をすべて「－－－－－－－－」に設定する。

4 ビデオデッキでタイマー録画を設定する。
設定のしかたは、ビデオデッキに付属の取扱説明書をご覧ください。

5 VTR連動ボタンを押す。

ビデオデッキが働き始めると、本機に電源が入り、手順2で選んだチャンネルをビデオデッキに出力します。

CS/BSをタイマー録画するには－VTR連動（つづき）

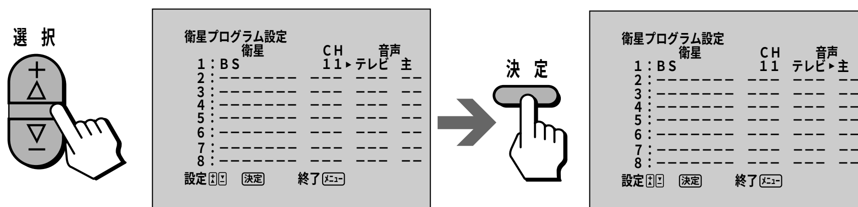


途中で間違えたときは
手順7で音声を選んだあとメニューボタンを2度押して、はじめからやり直してください。

プログラム内容を消したいときは
「衛星」の項目を「－－－－－－－－」に設定してください。

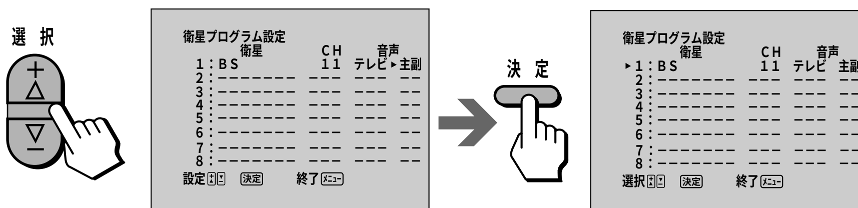
6 選択＋/－ボタンを押して、「テレビ」か「独立」を選び決定ボタンを押す。

ご注意
スクランブルのかかったチャンネルを録画する場合、音声の選択はデコーダー側で行ってください。



「独立」モードを設定しても、独立音声放送が放送されていない場合は「テレビ」音声になります。

7 選択＋/－ボタンを押して、「主」か「副」か「主副」を選び、決定ボタンを押す。



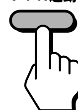
「主」や「副」などの音声を設定しても、二重音声放送が放送されていない場合は、ステレオまたはモノラルになります。

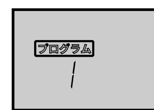
8 必要に応じて手順3～7を繰り返し、プログラムを設定する。

9 チューナーメニューボタンを押す。

メニュー画面が消えます。

10 VTR連動ボタンを押す。





表示窓に「プログラム」が点灯し、数秒後に電源が切れます。

プログラムは表示窓に出ている番号から始まります。
ビデオデッキで予約した時刻になると、ビデオデッキと本機の両方に電源が入り、CS/BS放送の録画が始まります。

予約後に本機をお使いになるときは

VTR連動の「プログラム」点灯中は本機を操作することができません。操作するときは、まずVTR連動ボタンを押して「プログラム」表示を消してから、使ってください。使ったあとは、再度VTR連動ボタンを押して「プログラム」を点灯させてください。

チャンネルの変わりかた

衛星プログラム設定

	衛星	CH		音声
1 ▶	BS	5	テレビ	主副
2	BS	11	独立	主
3	切			
4	SCC−B	S 7	テレビ	主副
5	SCC−B	S11	テレビ	主副
6	−−−−−−−−	−−−	−−−	−−
7	JC−SAT2	J 5	テレビ	主
8	JC−SAT2	J 7	テレビ	副

設定 +/− 決定 終了 メニュー

上記のように設定して、表示窓に「プログラム1」が点灯していると、ビデオデッキに電源が入るたびに、本機は次のような番組を映します。

BSの5チャンネル、テレビ、主／副音声

↓

BSの11チャンネル、独立、主音声

↓

切*

*「切」について
ビデオデッキの電源が入っていても連動機能が働かず、本機には電源が入らないことを意味します。
例えば、「3 切」になっていたらプログラム3のときは休みになります。
ビデオデッキで衛星放送と普通のテレビ放送を混在させて録画するときに便利です。

↓

SCC-BのS7チャンネル、テレビ、主／副音声

↓

SCC-BのS11チャンネル、テレビ、主／副音声

（プログラム6は「−−−−」に設定してあるので、プログラム5の次は7になります。）

↓

JCSAT2のJ5チャンネル、テレビ、主音声

↓

JCSAT2のJ7チャンネル、テレビ、副音声

（→ BSの5チャンネルへ戻る）

こんなときは

・**たとえばプログラム4から始めたいとき**
タイマー録画の手順9で、VTR連動ボタンを押し続け、表示窓に「プログラム4」を点灯させます。

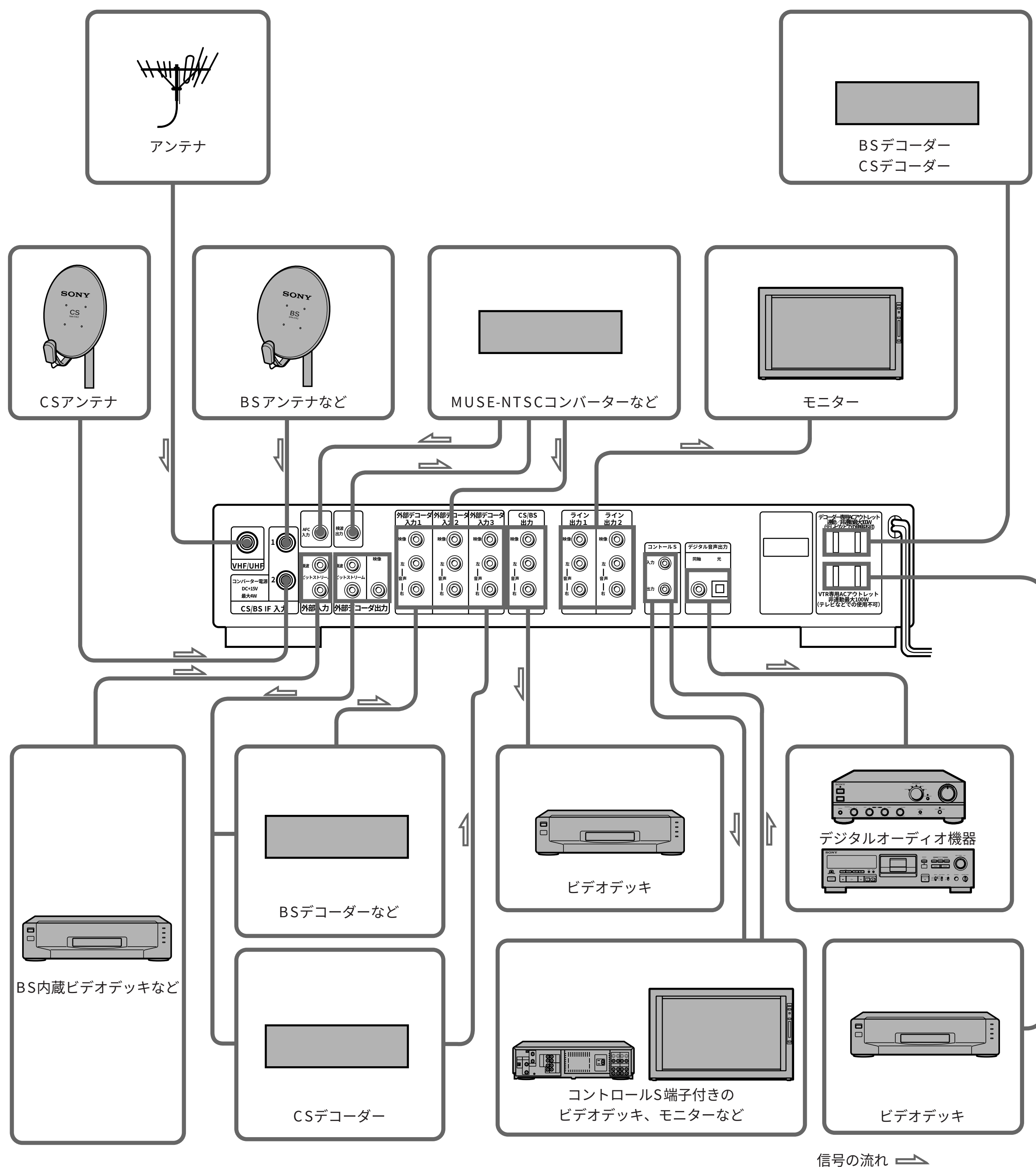


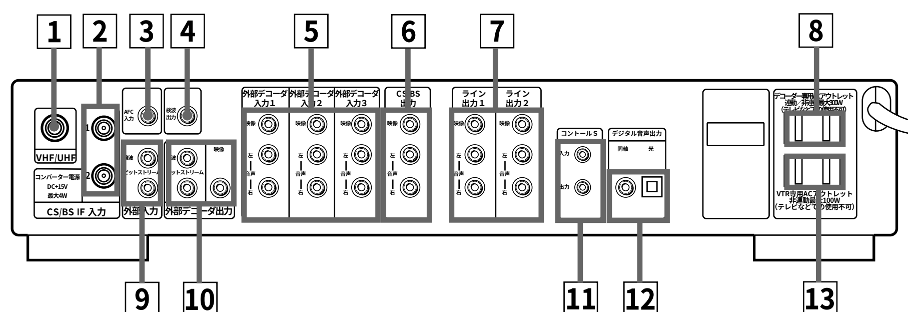
・**ビデオデッキに電源が入っても本機には電源が入らないようにしたいとき**
（CS/BSに関係なくビデオデッキを使いたいときなど）
VTR連動の予約待機状態を解除します。解除するには、VTR連動ボタンを押して、表示窓から「プログラム」表示を消します。ビデオデッキを使ったあとに、VTR連動ボタンを押して再び「プログラム」を点灯させておくと、予約待機状態に戻ります。

・**最後に見ていたチャンネルをタイマー録画したいとき**
プログラム1〜8に何も入っていない（すべて「−−−−」に設定してある）状態でVTR連動ボタンを押して、表示窓に「プログラム」を点灯させておくと、ビデオデッキに電源が入ったとき最後に見ていたチャンネルが録画されます。
ただし、最後にVHF/UHFを見ていた場合はライン出力端子からはVHF/UHF放送の信号が出力されます。
同一チャンネル（音声も同じ）のみを続けて録画するときにも、便利です。

接続端子のなまえと働き

本機の裏面の端子は、接続のとき、下のように使います。





1 **VHF/UHFアンテナ端子（F型コネクター）**
VHF/UHFアンテナまたはCATVのケーブルをつなぎます。

2 **CS/BS IF入力端子（F型コネクター）**
入力1と2がありますので、CSとBSを両方受信される場合は1にBS、2にCSのアンテナのケーブルをつないでください。

3 **AFC入力端子（ピンジャック）**
MUSE-NTSCコンバーターとつなぐときに使います。

4 **検波出力端子（ピンジャック）**
MUSE-NTSCコンバーターなどとつなぐときに使います。
本機で受信している信号が出力されます。

5 **外部デコーダー入力　映像端子／音声端子（ピンジャック）**
BSデコーダーやCSデコーダー、MUSE-NTSCコンバーターなどの出力端子とつなぎます。

6 **CS/BS出力　映像端子／音声端子（ピンジャック）**
CS/BSの映像、音声を出力します。（VHF/UHFは出力されません。）ビデオデッキなどのビデオ入力端子につなぎます。

7 **ライン出力1、2端子**
映像端子（ピンジャック）／音声端子（ピンジャック）
ライン出力1（画面表示有）端子には、モニターをつなぎます。
ライン出力2端子には、その他の機器をつなぎます。（画面表示は出力されません。）

8 **デコーダー専用ACアウトレット　連動／非連動最大300W**
メニューで「連動」と「非連動」を切り換えることによって、働きかたが変わります。「連動」にしておくと、本機に電源が入っているときのみ、このアウトレットに電源が供給されるので、BSデコーダーなどをつなぐと便利です。モニターなどはつながないでください。

9 **検波／ビットストリーム入力端子（ピンジャック）**
BSチューナー内蔵のテレビやビデオデッキなどをお持ちのとき、この端子とその機器の検波／ビットストリーム出力端子をつなぐと、BSデコーダーなどを共用することができます。

10 **検波／ビットストリーム／映像出力端子（ピンジャック）**
BSデコーダーなどとつなぎます。本機で受信または9から入力された信号が出力されます。

11 **コントロールS　入力／出力端子（ミニジャック）**
コントロールSは、ソニー独自のコントロールシステムです。
入力………モニターとつなぐと、モニターの前面操作キーまたはリモコンで本機を操作できます。
出力………コントロールS端子付きのビデオデッキなどにつなぎます。入力端子とモニターをつないでいるとモニターの前面操作キーまたはリモコンでビデオデッキなどが操作できます。

12 **デジタル音声出力端子**
同軸（ピンジャック）、光（角型コネクター）
DAT（デジタルオーディオテープレコーダー）、デジタル入力アンプなどとつなぎます。つなぐ機器によって、同軸か光かを選んでください。
外部デコーダー入力から入った音声は出力されません。

13 **VTR専用ACアウトレット　非連動最大100W**
本機のVTR連動機能を使ってCSまたはBS放送を予約録画するとき、ビデオデッキの電源プラグをここにつないでおきます。連動機能を使わない場合でも、このACアウトレットには電源が供給されています。

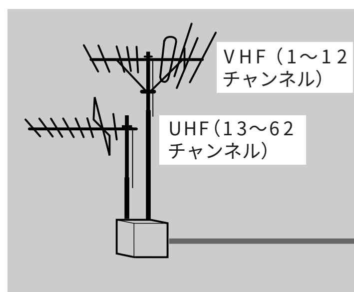
ご注意

- 消費電力100W以上のビデオデッキや、テレビなど他の電気機器をつながないでください。
- ここに接続したビデオデッキのACアウトレットには、何もつながないでください。故障の原因となったり、VTR連動機能が正しく働かなかったりします。

VHF/UHFアンテナをつなぐ

お部屋に引き込まれているアンテナ線の種類によって、つなぎかたが異なります。お部屋のアンテナ端子、またはアンテナからの引き込み線をお確かめください。
本機のアンテナ端子はVHF/UHF混合端子です。フィーダー線は雑音電波などの影響を受けやすいので、同軸ケーブルの使用をおすすめします。
右図のように正しくつないでください。

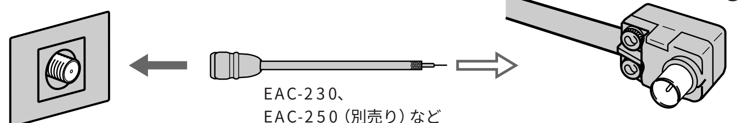
部屋のアンテナ端子がVHF/UHF混合の場合



ケーブルを付属のアンテナコネクターにつなぐ

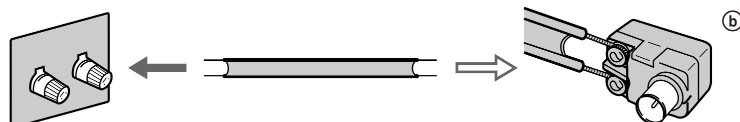
同軸ケーブルの場合　詳しくはA

壁のアンテナ端子

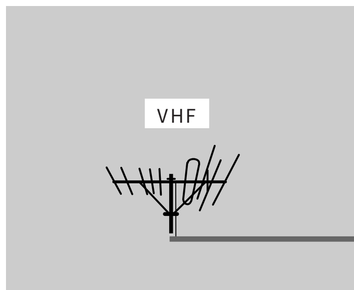


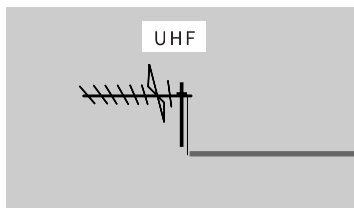
フィーダー線の場合　詳しくはB

壁のアンテナ端子



部屋のアンテナ端子がVHF、UHFに分かれている場合または、どちらかの場合

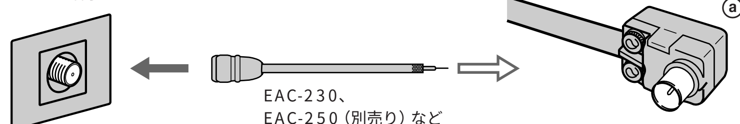




ケーブルを付属のアンテナコネクターにつなぐ

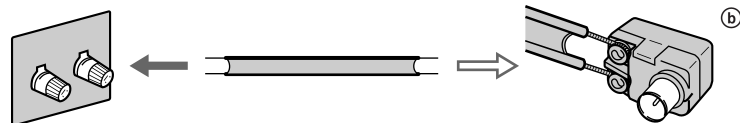
同軸ケーブルの場合　詳しくはA

壁のアンテナ端子



フィーダー線の場合　詳しくはB

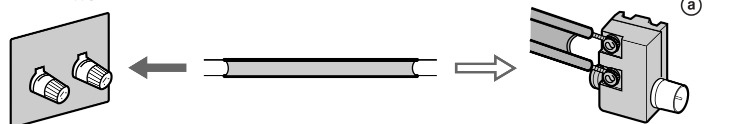
壁のアンテナ端子



フィーダー線を付属のV/Uミキサーにつなぐ

詳しくはB

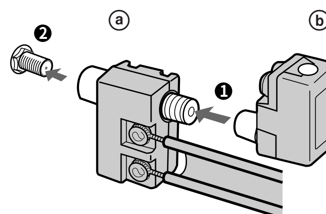
壁のアンテナ端子



VHF放送とUHF放送を見るには

❶ VHFのアンテナ線をつないだアンテナコネクターと、UHFのフィーダー線をつないだV/Uミキサーをつなぐ。

❷ V/Uミキサーを本機裏面のVHF/UHFアンテナ端子につなぐ。



同軸ケーブルをつなぐとき

先端がF型コネクター付きの場合、付属のアンテナコネクターを使わずに、直接アンテナ端子につなぎます。

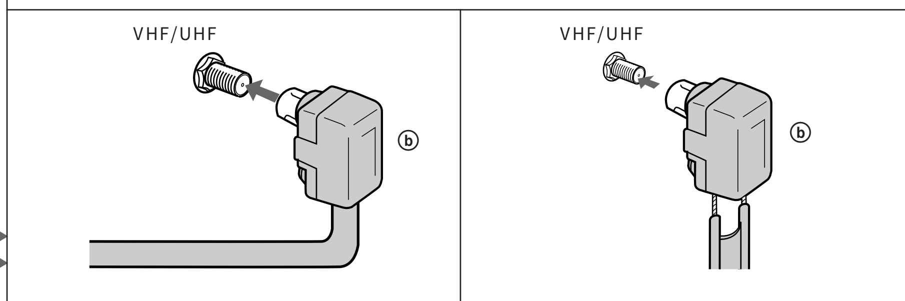


F型コネクター

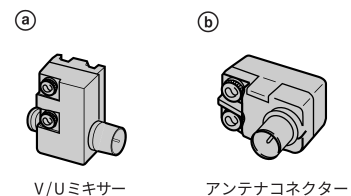
ケーブルテレビ（CATV）放送について

地元のケーブルテレビ関係各社にお問い合わせください。

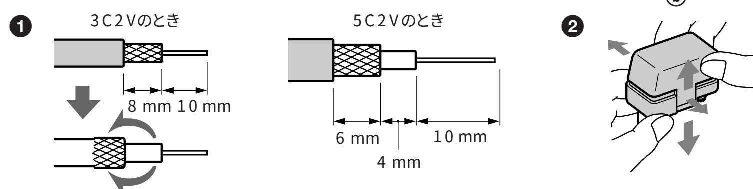
アンテナコネクターを本機裏面のVHF/UHFアンテナ端子につなぐ



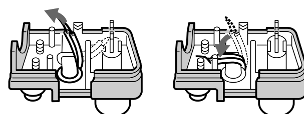
アンテナ線をつなぐための付属品



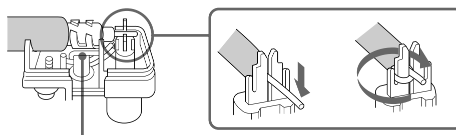
A 同軸ケーブルのつなぎかた



❸ ペンチで、金具にはさんである線を図のように折り曲げる。



❹ 同軸のケーブルの芯線を根元まで差し込み、巻き付ける。

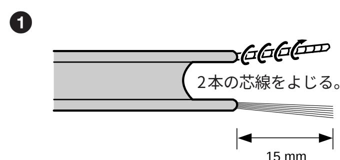


❺ 金具を曲げて、ケーブルを押さえる。

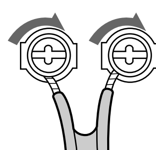
❻ ふたをはめる。

B フィーダー線のつなぎかた

❶



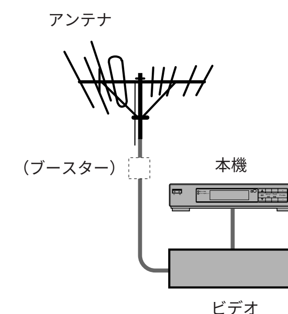
❷ ドライバーでネジを締め、芯線を巻き付けてネジを締める。



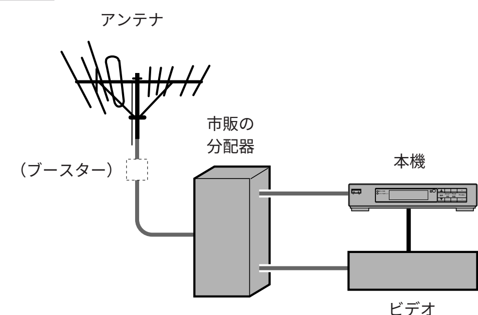
ビデオデッキをつないで見るとき

下図のように2つの方法があります。特に電波が弱い地域では、ブースターをお使いください。

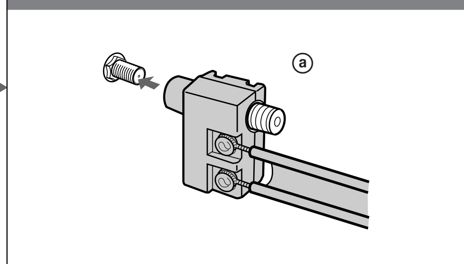
●ビデオデッキを経由した場合



●分配器を使った場合



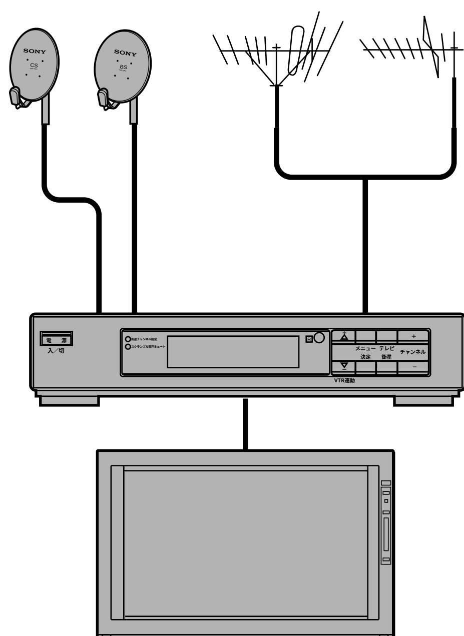
V/Uミキサーを本機裏面のVHF/UHFアンテナ端子につなぐ



電波の受信状態が悪いときは

同軸ケーブルを使って、V/Uミキサーを本機からできるだけ離してつないでください。

CS/BSアンテナをつなぐ

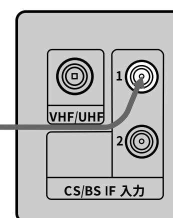


BSだけを視聴する場合

個人で視聴する場合

BS

裏面

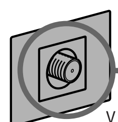


マンションなどの共聴システムの場合

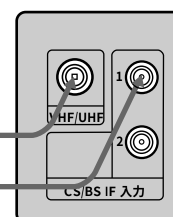
部屋のアンテナ端子

裏面

分波器EAC-BCUVなど



VHF/UHF/BS混合



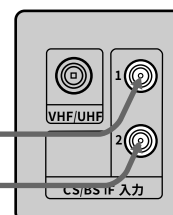
BSとスカイポートTV、またはCSバーンを視聴する場合

個人で視聴する場合

裏面

BS

CS



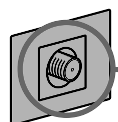
マンションなどの共聴システム（スペースケーブルネット）の場合

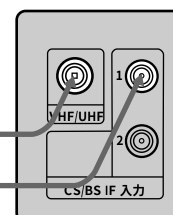
部屋のアンテナ端子

裏面

VHF/UHF/BS/CS混合

分波器EAC-BCUVなど





BSとスカイポートTVとCSバーンを視聴する場合

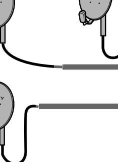
個人で視聴する場合

CS(S)

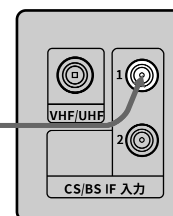
BS

裏面

CS(J)



インテリジェント
アンテナセレクター
EAC-AS3



CS/BSコンバーター電源についてのご注意

CS/BS IF入力端子はDC 11Vまたは15Vを供給します。VHF、UHFのアンテナは絶対につながないでください。

衛星設定　BS7
▸衛星：BS
受信：入
アンテナ設定
入力　：1
電源　：連動

設定 ⇕　決定　終了 メニュー

必ず「電源」を「連動」にしてください。

お買い上げ時、BSのアンテナ設定の電源は「切」に設定されています。
「衛星設定」画面で、「切」になっていることをご確認ください。

BSのアンテナ設定の電源は「連動」にします。

衛星設定
▸衛星：BS
受信：入
アンテナ設定
入力　：1
電源　：連動

➡

スカイポートTVを見る場合

衛星設定
▸衛星：SCC−B
受信：入
アンテナ設定
水平偏波　入力　：1
電源　：切
周波数：11. 2
垂直偏波　入力　：2
電源　：偏波連動
周波数：11. 2

CSバーンを見る場合

衛星設定
▸衛星：JC-SAT2
受信：入
アンテナ設定
水平偏波　入力　：2
電源　：連動
周波数：11. 2
垂直偏波　入力　：2
電源　：切
周波数：11. 2

BS

衛星設定
▸衛星：BS
受信：入
アンテナ設定
入力　：1
電源　：切

➡

スカイポートTVを見る場合

衛星設定
▸衛星：SCC−B
受信：入
アンテナ設定
水平偏波　入力　：1
電源　：切
周波数：10. 99
垂直偏波　入力　：1
電源　：切
周波数：10. 99

CSバーンを見る場合

衛星設定
▸衛星：JC−SAT2
受信：入
アンテナ設定
水平偏波　入力　：1
電源　：切
周波数：10. 873
垂直偏波　入力　：1
電源　：切
周波数：10. 873

BS

衛星設定
▸衛星：BS
受信：入
アンテナ設定
入力　：1−1
電源　：連動

スカイポートTV

衛星設定
▸衛星：SCC−B
受信：入
アンテナ設定
水平偏波　入力　：1
電源　：切
周波数：11. 2
垂直偏波　入力　：1−2
電源　：連動
周波数：11. 2

CSバーン

衛星設定
▸衛星：JC−SAT2
受信：入
アンテナ設定
水平偏波　入力　：1−3
電源　：連動
周波数：11. 2
垂直偏波　入力　：2
電源　：切
周波数：11. 2

ご注意

アンテナケーブルをつなぐときは、工具を使わずに手でしっかりと締めてください。（工具を使うと、端子をいためることがあります。）

受信状態について

次のようなときは、CSやBSを受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。

・ハイビジョン放送のとき
　受信するには、別売りのMUSE-NTSCコンバーターが必要です。
・雷、豪雨、降雨、強風などの悪天候のとき
・アンテナに雪が付着しているとき
・春分、秋分、日食など、太陽と地球と衛星が並んだとき
　（食のとき）
・強風などで、アンテナの向きが変わったとき

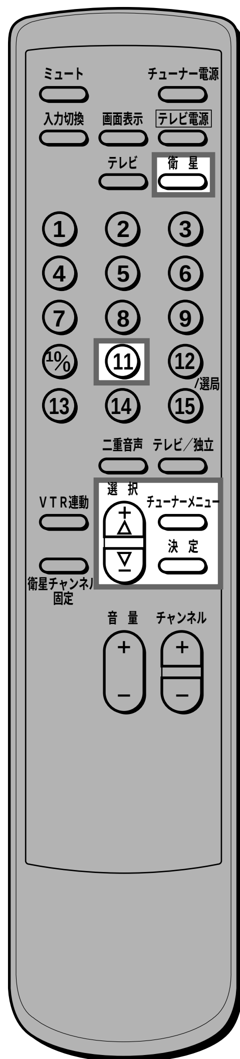
20ページをご覧の上、アンテナを調整してください。

サテライト分配器についてのご注意

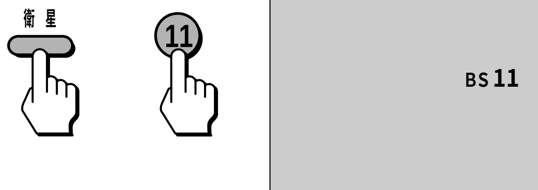
サテライト分配器をお使いになるときは、必ず、どの端子からもコンバーターに電源を供給するタイプ（ソニーEAC-BC2またはEAC-BC4など）をお使いください。
サテライト分配器には、特定の端子からのみコンバーターに電源を供給するタイプもありますが、このタイプを使用した場合、BSチューナー内蔵ビデオデッキでも、本機の電源を入れないと衛星放送を録画できないなどの不都合が生じることがあります。

CS/BSアンテナを調整する

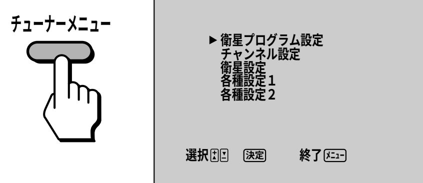
CS/BSアンテナをつないだあと、次の手順でアンテナの方向と角度を調整します。最良の調整ができるように、モニター画面上の数字で確かめられるようになっています。



1 放送のあるCS/BSチャンネルを選ぶ。

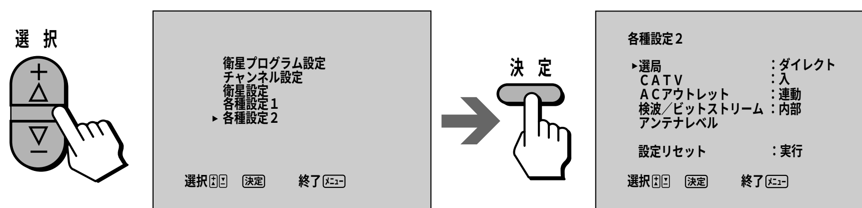


2 チューナーメニューボタンを押す。



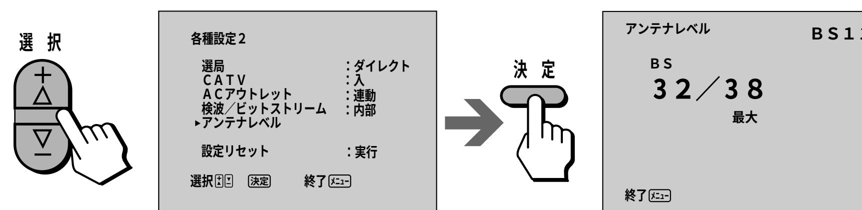
メニューが出ます。

3 選択＋/－ボタンを押して▶を「各種設定2」に移動し、決定ボタンを押す。



「各種設定2」の画面が出ます。

4 選択＋/－ボタンを押して▶を「アンテナレベル」に移動し、決定ボタンを押す。



アンテナレベル調整の画面が出ます。

アンテナレベルとは

アンテナから入ってくる電波の強さのことです。

- アンテナレベルは、天候や気温、時間帯、アンテナケーブルの長さなどの影響を受け、数値は上下することがあります。
- アンテナレベルの数値は、アンテナ設置のためのものであり、受信C/N比（受信信号電力対雑音電力比）を表すものではありません。

5 アンテナの方向・角度を調整して、アンテナレベルの数値が最大になるようにする。



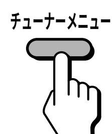
今入っているアンテナレベル（左側の数字）が、最大値（右側の数字）に近づくようにアンテナを動かす。

調整のコツ

最初に上下方向（仰角）を決め、次にゆっくりと左右に回して方位角を決め、最大値を探すようにします。

詳しくは、アンテナの取扱説明書をご覧ください。

6 調整が終わったら、チューナーメニューボタンを押す。



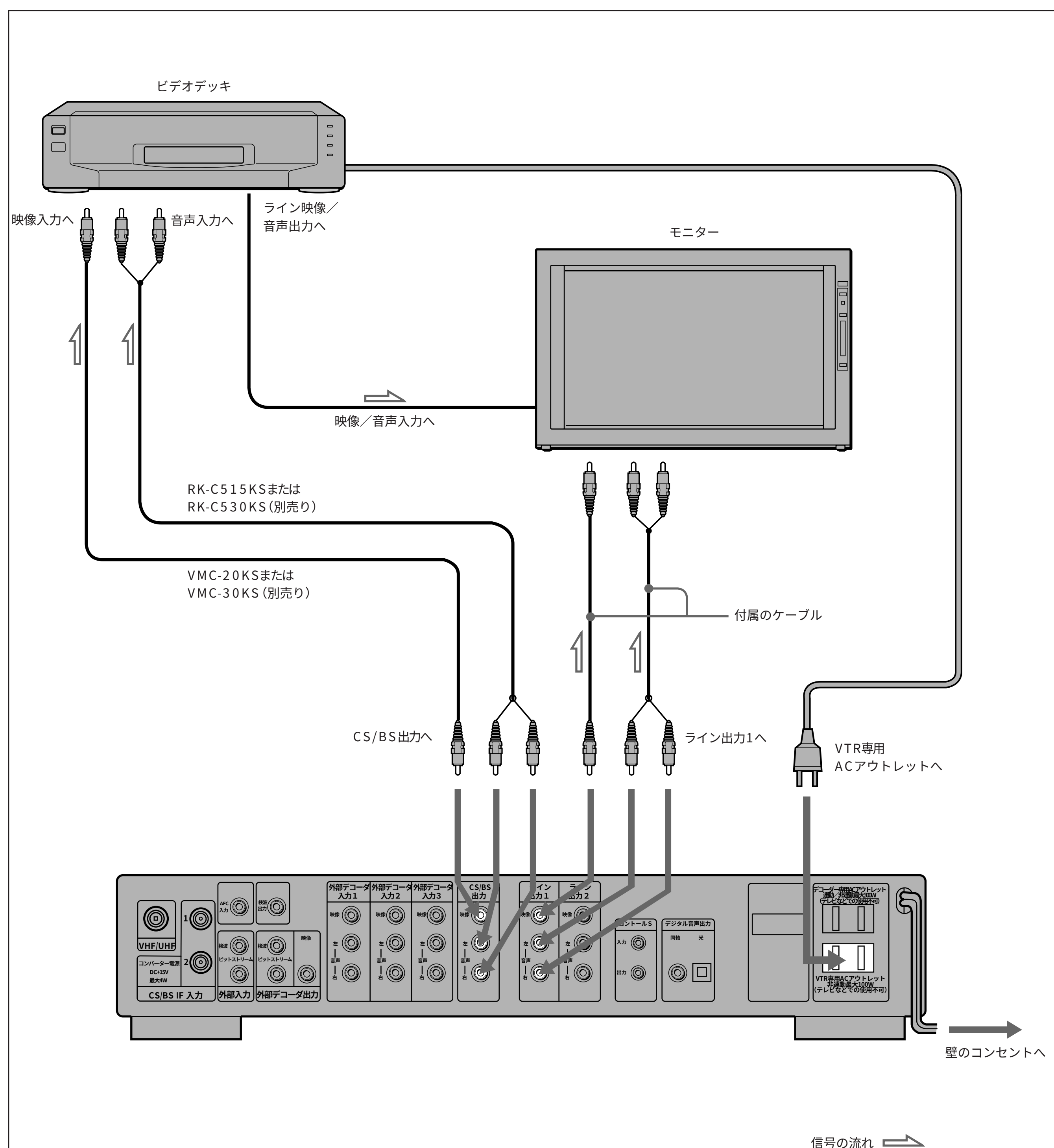
アンテナレベルの表示が消えます。

これで、調整は完了です。

ご注意

- アンテナと本機の間に分配器・直列ユニットなどを使用した場合、チューナーの入力レベルが不足してアンテナレベルが正しく表示されないことがあります。このような場合は、IFブースターを使用してください。
- アンテナレベル表示中にチャンネルボタンを押すと、そのチャンネルの入力レベルが表示されます。表示の数値は各々のチャンネルで違います。また、アンテナ・コンバーターの性能によっても差が生じます。

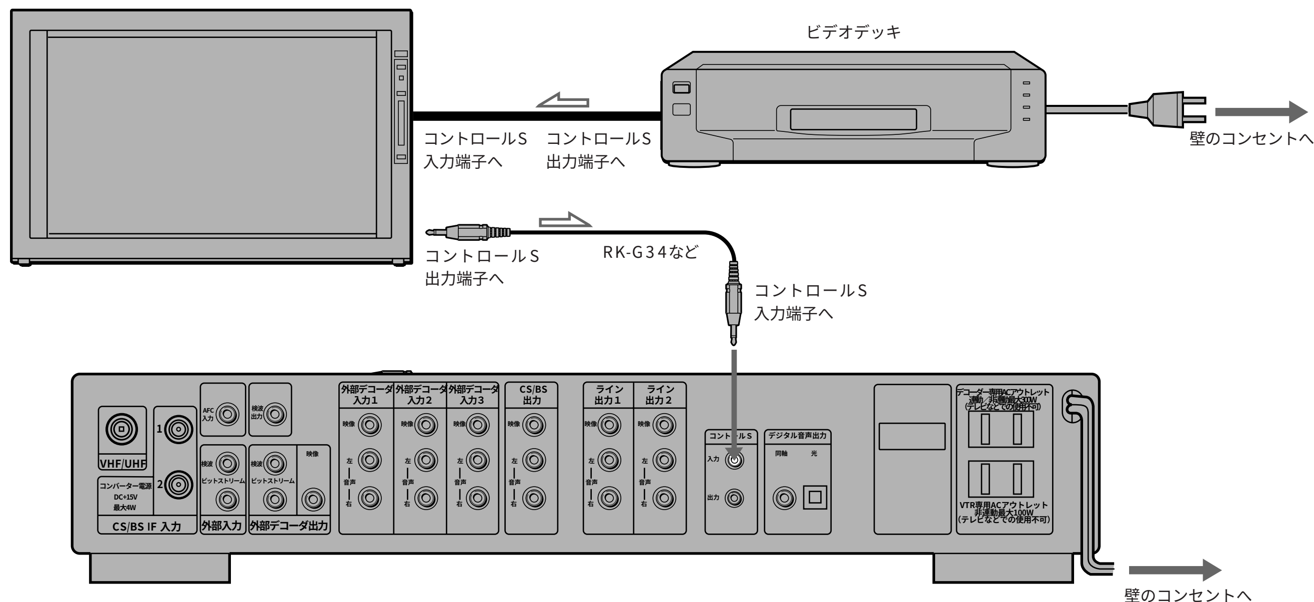
モニター、ビデオデッキをつなぐ



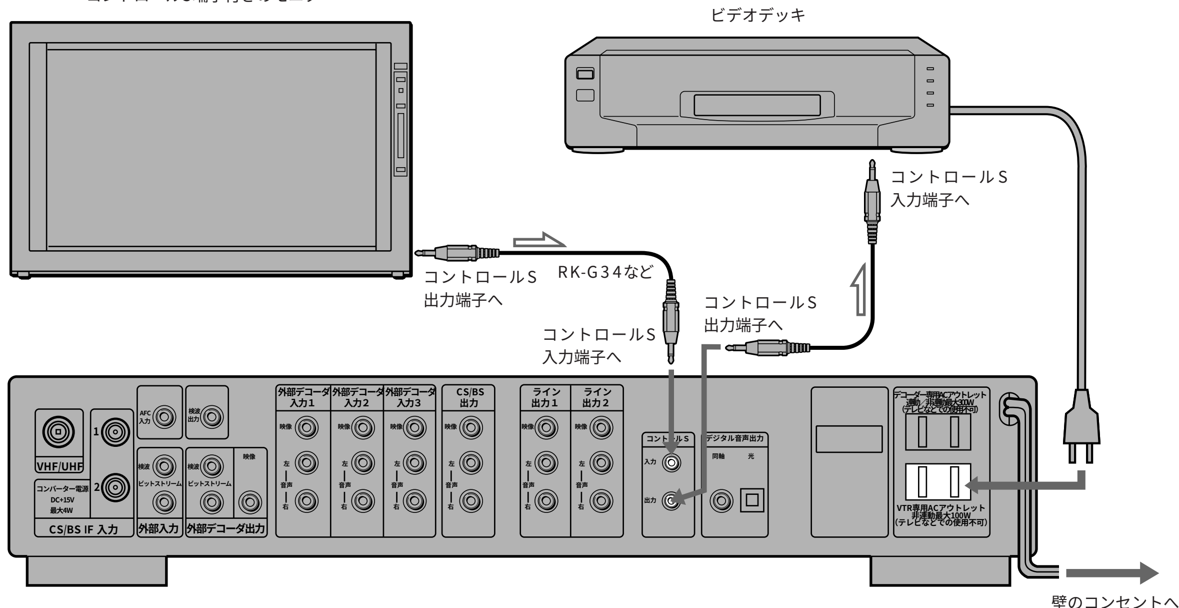
テレビ放送（VHF/UHF/CATV）を見ながらCS/BS放送の番組を録画するときは、衛星チャンネル固定ボタンを押すと、誤って録画チャンネルを切り換える操作をしても切り換わりません。詳しくは7ページをご覧ください。

コントロールS端子をつなぐ

ビデオデッキのBSコントロール機能を使う場合（プログラムの設定はビデオ側で行います。）



モニターの前面操作キーでビデオデッキを操作する場合



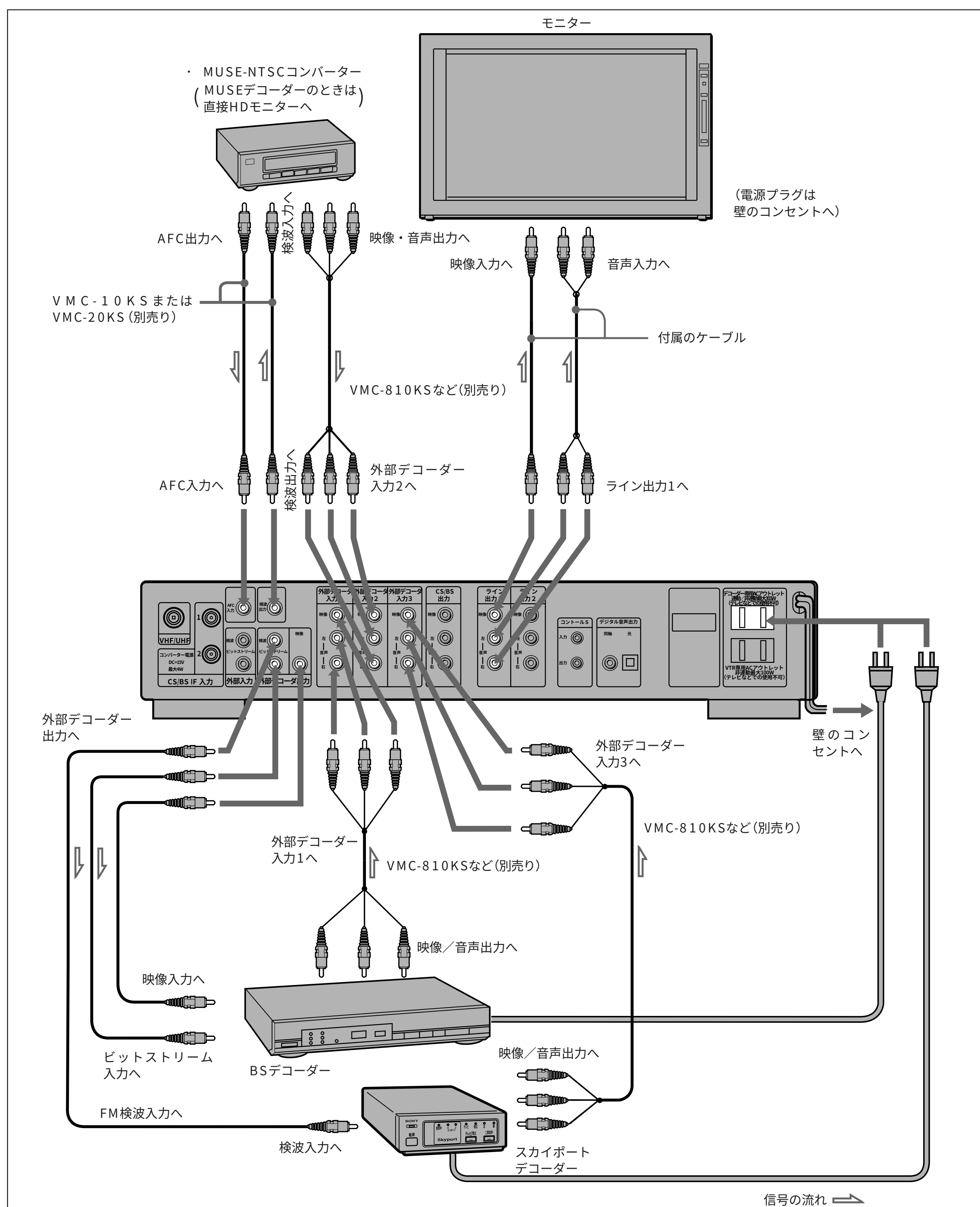
コントロールS端子付きのモニター・ビデオデッキなどをお持ちのときは
本機のコントロール S端子とつないでください。
詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

信号の流れ ⇨

コントロールS端子とは

ソニー独自のコントロールシステムのための端子です。コントロールS端子のある機器同士で、電源入／切・チャンネル切り換えなどの連携操作が可能です。

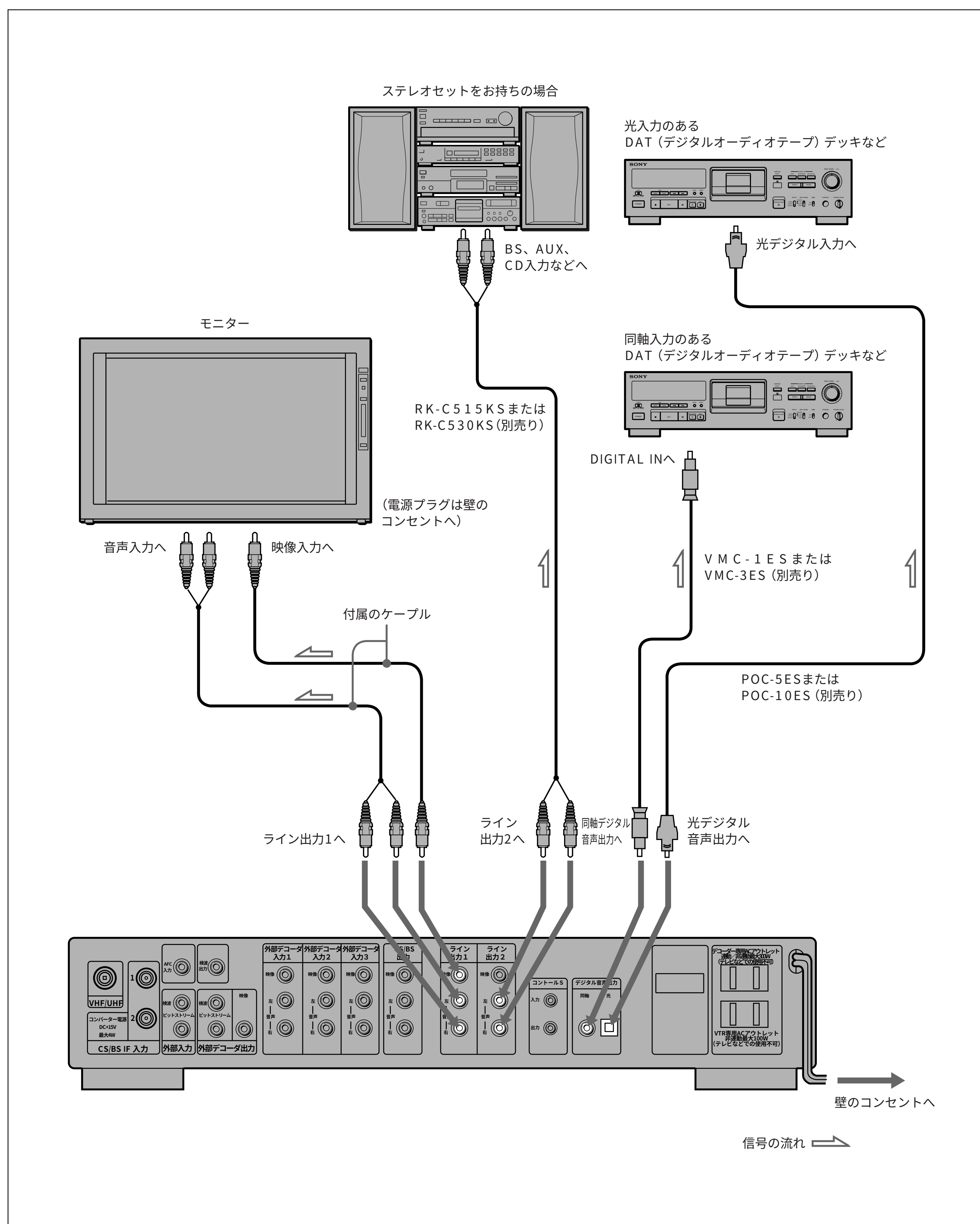
デコーダー、MUSE-NTSCコンバーターをつなぐ



詳しくは接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
デコーダーの電源コードを本機裏面のACアウトレット連動/非連動最大300Wにつなぎ、「連動」に設定しておくと、タイマー録画の際に便利です。(42ページ)

MUSE-NTSCコンバーターとは
MUSE方式のハイビジョン放送をふつうの(NTSC方式の)テレビで見るための変換器です。

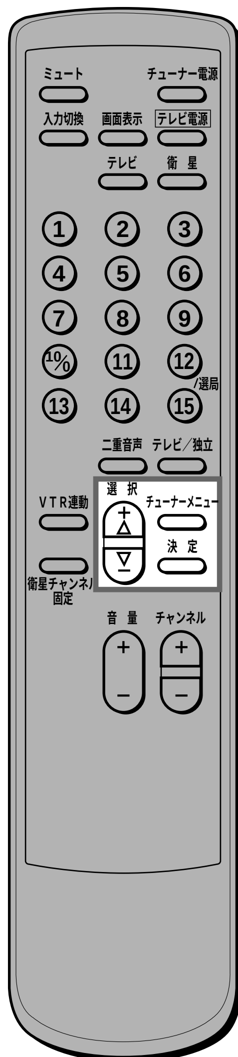
オーディオ機器をつなぐ



スクランブルのかかった音声をデジタル録音するには

デコーダーのデジタル音声出力端子をお使いください。

VHF/UHFチャンネルを設定する



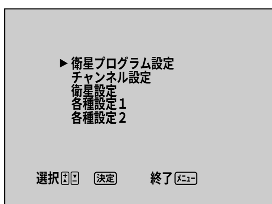
・UHFを見るには、チャンネルボタン①から⑮のうちの空いているボタンに、見たいチャンネルを設定（割り当て）してください。例えば、⑮に42チャンネルを割り当てれば、⑮ボタンを押すと42チャンネルが映るようになります。

・また、引っ越しなどで受信するチャンネルが変わったときなど、場合に応じてVHFやUHFのチャンネルの割り当てをやり直してください。

あらかじめVHFまたはUHFのチャンネルを選んでおいてください。

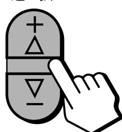
1 チューナーメニューボタンを押す。

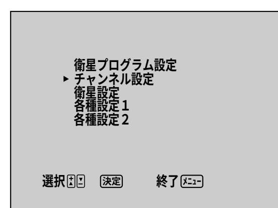


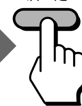


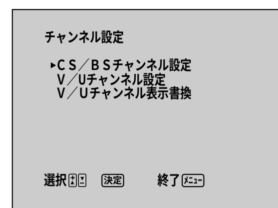
メニューが出ます。

2 選択+/−ボタンを押して▶を「チャンネル設定」に移動し、決定ボタンを押す。



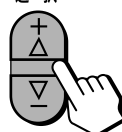


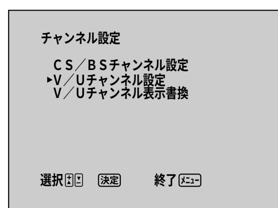


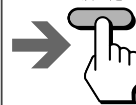


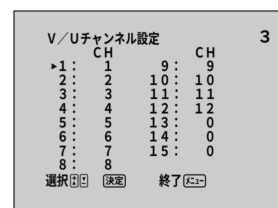
「チャンネル設定」の画面が出ます。

3 選択+/−ボタンを押して▶を「V/Uチャンネル設定」に移動し、決定ボタンを押す。







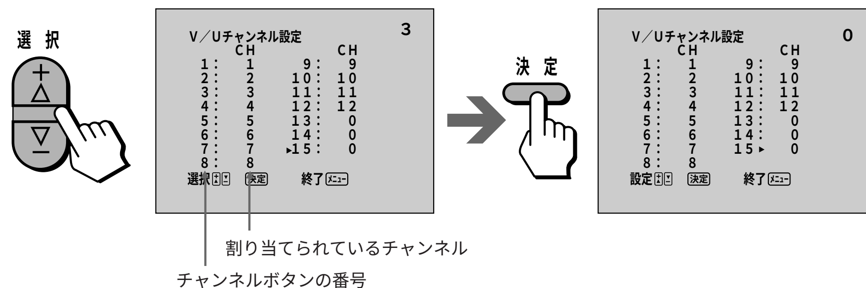


「V/Uチャンネル設定」の画面が出ます。

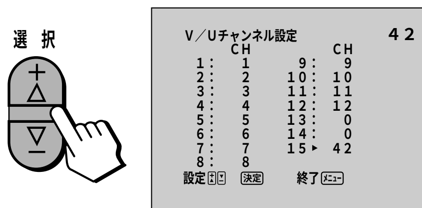
CATVが「入」になっていると、UHFを受信できません。28ページをご覧になり、CATVを「切」にしてください。

チャンネルの設定を「0」にすると
チャンネル+/−ボタンを押したときに、そのチャンネルはとばされて次のチャンネルが選局されます。（30ページ）

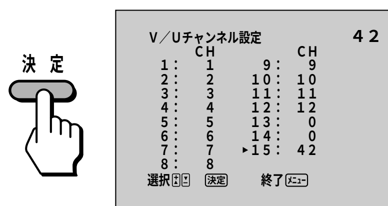
4 選択＋/－ボタンを押し、▶を設定したいチャンネルボタンの番号に移動し、決定ボタンを押す。



5 選択＋/－ボタンを押し、見たいチャンネルを選ぶ。



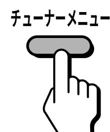
6 決定ボタンを押す。



画面には選んだチャンネルが映ります。

7 手順4～6を繰り返し、ほかの見たいチャンネルを設定する。

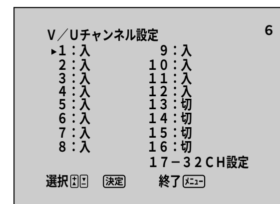
8 設定が終わったら、チューナーメニューボタンを押してメニューを消す。



これでチャンネル設定は終わりです。

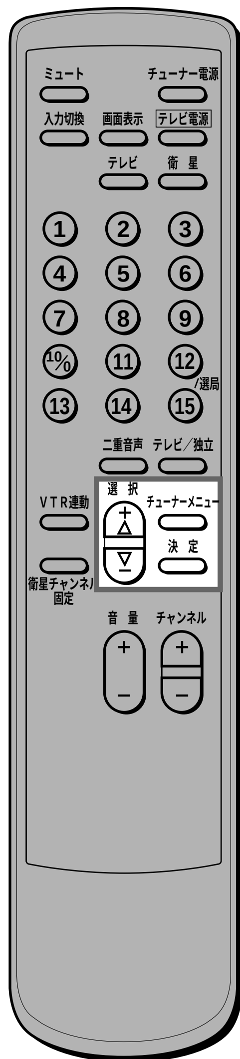
UHFのチャンネル番号について
放送局によっては、実際のチャンネル番号で呼ばれず、通称のチャンネル番号で呼ばれていることがあります。新聞のテレビ欄などでお確かめください。

10キー選局の場合
次のような表示になります。見たいチャンネルを「入」に設定します。



10キー選局については40ページをご覧ください。

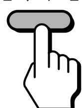
CATV(ケーブルテレビ)チャンネルを設定する



CATVを見るには、CATVを受信するための設定をしたあと、チャンネルボタン①から⑮のうちの空いているボタンに、見たいチャンネルを割り当ててください。例えば、⑪にCATV24チャンネルを割り当てれば、⑪ボタンを押すとCATV24チャンネルが映るようになります。

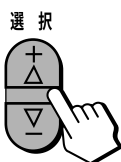
あらかじめVHFまたはUHFのチャンネルを選んでおいてください。

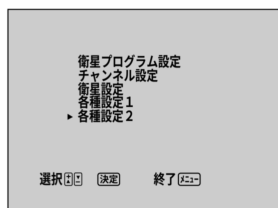
1 チューナーメニューボタンを押す。

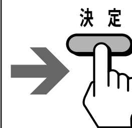


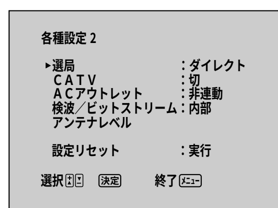
メニューが出ます。

2 選択＋/－ボタンを押して▶を「各種設定2」に移動し、決定ボタンを押す。



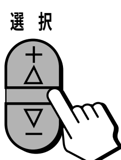




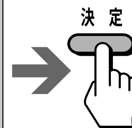


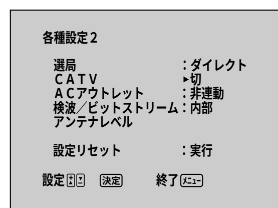
「各種設定2」の画面が出ます。

3 選択＋/－ボタンを押して▶を「CATV」に移動し、決定ボタンを押す。

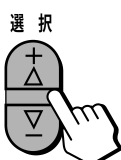


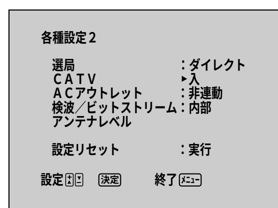


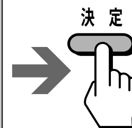


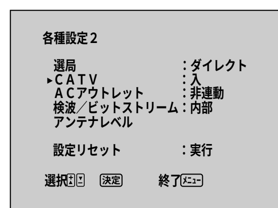


4 選択＋/－ボタンを押して「入」にし、決定ボタンを押す。









引き続き、チャンネルの設定を行います。

5 チューナーメニューボタンを2度押して、最初のメニュー画面を出す。

CATV放送について

CATV放送は、サービスの行われている地域のみ視聴することができます。視聴するためには、ケーブルテレビ放送会社との契約手続きが必要です。詳しくはケーブルテレビ放送関係各社にお問い合わせください。

6 選択＋/ーボタンと決定ボタンで「チャンネル設定」画面を選んで「V/Uチャンネル設定」画面を出す。

（26〜27ページの「VHF/UHFチャンネルを設定する」をご覧ください。）

7 選択＋/ーボタンを押し、▶を設定したいチャンネルボタンの番号に移動し、決定ボタンを押す。

8 選択＋/ーボタンを押し、見たいCATVのチャンネルを選ぶ。

9 決定ボタンを押す。

画面には選んだCATVのチャンネルが映ります。

10 手順7〜9を繰り返し、見たいチャンネルを設定する。

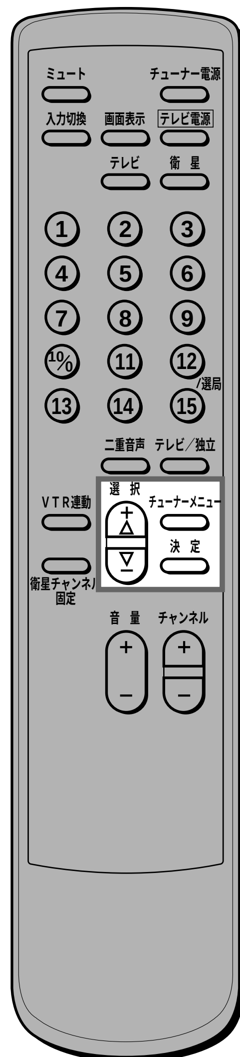
11 設定が終わったら、チューナーメニューボタンを押してメニューを消す。

これでチャンネル設定は終わりです。

CATVが「入」のとき
UHFを受信することはできません。UHFをご覧になるときは、CATVを「切」に設定し直してください。

見たいチャンネルが15を越えるときは
チャンネルの選局方法を「10キー選局」に切り換えてください。（40ページ）

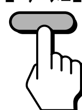
放送のないチャンネルをとばす

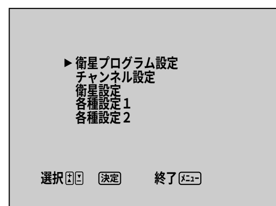


あらかじめ設定をしておくと、チャンネル+/−ボタンを押したときに、放送のないチャンネルや見ないチャンネルをとばす（選局しない）ことができます。

あらかじめVHFまたはUHFのチャンネルを選んでおいてください。

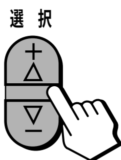
1 チューナーメニューボタンを押す。

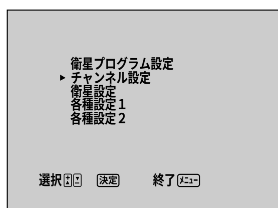


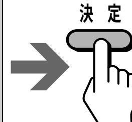


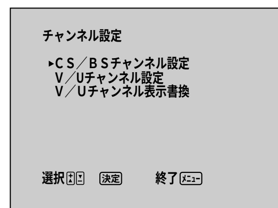
メニューが出ます。

2 選択+/−ボタンを押して▶を「チャンネル設定」に移動し、決定ボタンを押す。



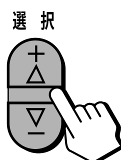


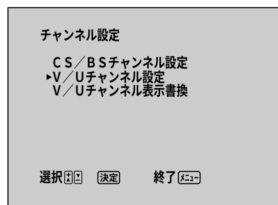


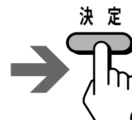


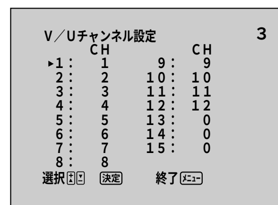
「チャンネル設定」の画面が出ます。

3 選択+/−ボタンを押して▶を「V/Uチャンネル設定」に移動し、決定ボタンを押す。



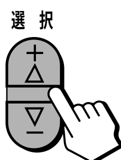


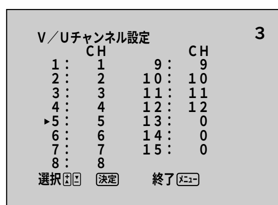


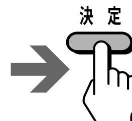


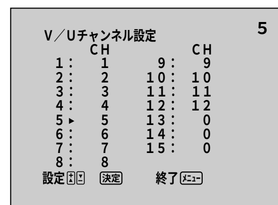
「V/Uチャンネル設定」の画面が出ます。

4 選択+/−ボタンを押して▶を放送のないチャンネルボタンの番号に移動し、決定ボタンを押す。





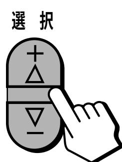




10キー選局のとき

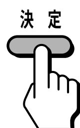
10キー選局（40ページ）のときチャンネルをとばす設定については、41ページをご覧ください。

5 選択＋/－ボタンを押し、「0」にする。



V／Uチャンネル設定			0
	CH		CH
1：	1	9：	9
2：	2	10：	10
3：	3	11：	11
4：	4	12：	12
5▸	0	13：	0
6：	6	14：	0
7：	7	15：	0
8：	8		
設定＋－	決定	終了 メニュー	

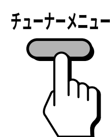
6 決定ボタンを押す。



V／Uチャンネル設定			0
	CH		CH
1：	1	9：	9
2：	2	10：	10
3：	3	11：	11
4：	4	12：	12
▸5：	0	13：	0
6：	6	14：	0
7：	7	15：	0
8：	8		
選択＋－	決定	終了 メニュー	

7 手順4～6を繰り返し、放送のないチャンネルに「0」を設定する。

8 設定が終わったら、チューナーメニューボタンを押す。



メニューが消えます。

これで放送のないチャンネルをとばす設定は終わりです。

もう一度選局できるようにするには

チャンネルを合わせ直します。（26ページ）

チャンネル表示を書き換える

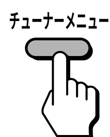
テレビ放送（VHF/UHF）画面に出るチャンネル表示を、お好みの番号にすることができます。
UHFなどで、覚えやすいチャンネル表示にしたいときに書き換えます。

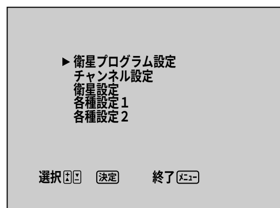
あらかじめVHFまたはUHFのチャンネルを選んでおいてください。



10キー選局（40ページ）のときは
この機能は使えません。

1 チューナーメニューボタンを押す。

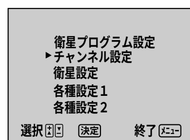


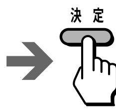


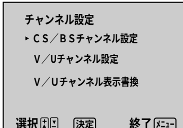
メニューが出ます。

2 選択＋/－ボタンを押して▶を「チャンネル設定」に移動し、決定ボタンを押す。





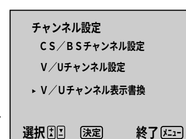


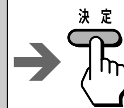


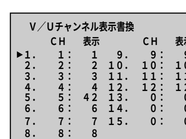
「チャンネル設定」の画面が出ます。

3 選択＋/－ボタンを押して▶を「V/Uチャンネル表示書換」に移動し、決定ボタンを押す。





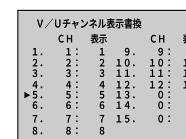


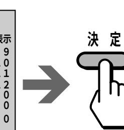


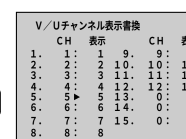
「V/Uチャンネル表示書換」の画面が出ます。

4 選択＋/－ボタンを押し、▶を表示を書き換えたいチャンネルのチャンネルボタンの番号に移動し、決定ボタンを押す。



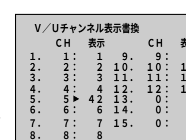


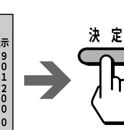


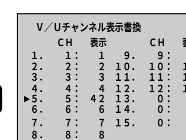


5 選択＋/－ボタンを押してお好みの番号にし、決定ボタンを押す。



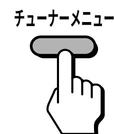






6 手順4～5を繰り返して、必要なチャンネルを書き換える。

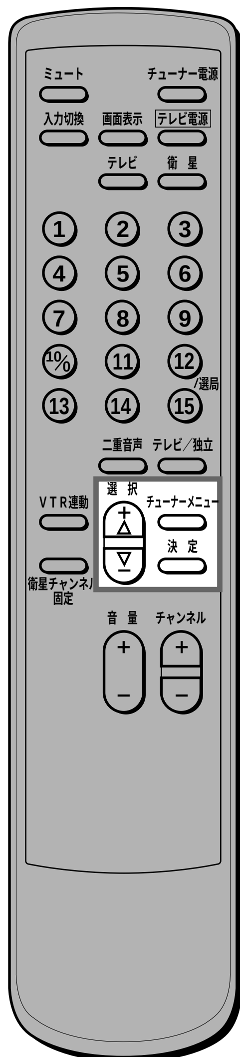
7 設定が終わったら、チューナーメニューボタンを押す。



メニューが消えます。

これでチャンネル表示の書き換えは終わりです。

チャンネル表示、フロント表示を消す



フロント表示について
「切換時表示」の場合は、本体（またはリモコン）で操作を行ったときだけ表示が出ます。放送の音声モードが変わったときには表示は出ません。

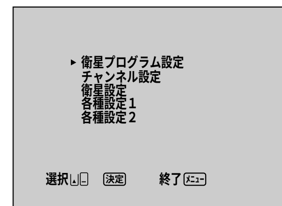
チャンネル表示について
「切換時表示」の場合、操作を行ったときと音声モードが変わったときに表示が出ます。

チャンネル表示やフロント表示（チューナー本体全面の表示）は、お好みに応じて出したままにしたり、消したりできます。

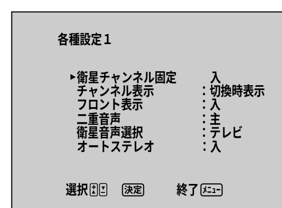
- 入：表示は出たまま
- 切：表示は消えたまま
- 切換時表示：チャンネルを切り換えた後、数秒間のみ表示

例：チャンネル表示

1 チューナーメニューボタンを押し、メニューを出す。



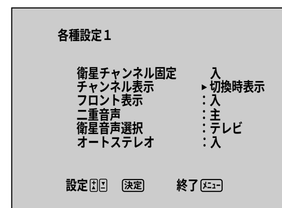
2 選択＋/－ボタンを押して▶を「各種設定1」に移動し、決定ボタンを押す。



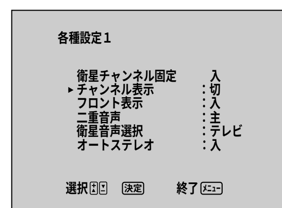
「各種設定1」の画面が出ます。

3 選択＋/－ボタンを押して▶を「チャンネル表示」に移動し、決定ボタンを押す。

（フロント表示を選択するときは「フロント表示」）

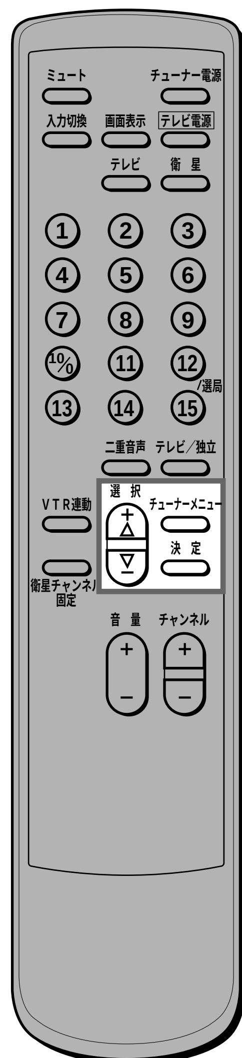


4 選択＋/－ボタンを押して「入」、「切」または「切換時表示」を出し、決定ボタンを押す。



5 チューナーメニューボタンを押し、メニューを消す。

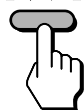
CS/BSチャンネルを設定する



チャンネル+/−ボタンで選べるチャンネルを設定します。
見ないチャンネルや放送していないチャンネルをとばしたり、新しく増えたチャンネルを選べるようにできます。チャンネルを1つも見ない衛星は「衛星設定」で「受信：切」を選んでください。（36ページ）

あらかじめCSまたはBSのチャンネルを選んでおいてください。

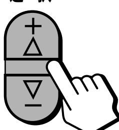
1 チューナーメニューボタンを押す。



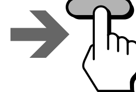
▶衛星プログラム設定
チャンネル設定
衛星設定
各種設定1
各種設定2
選択 決定 終了

メニューが出ます。

2 選択+/−ボタンを押して、▶を「チャンネル設定」に移動し、決定ボタンを押す。



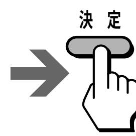
衛星プログラム設定
▶チャンネル設定
衛星設定
各種設定1
各種設定2
選択 決定 終了



チャンネル設定
▶CS／BSチャンネル設定
V／Uチャンネル設定
V／Uチャンネル表示書換
選択 決定 終了

3 ▶が「CS/BSチャンネル設定」にあることを確認して、決定ボタンを押す。

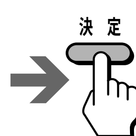
チャンネル設定
▶CS／BSチャンネル設定
V／Uチャンネル設定
V／Uチャンネル表示書換
選択 決定 終了



CS／BSチャンネル設定 BS7
▶衛星：BS
BS 1：切
BS 3：切
BS 5：入
BS 7：入
BS 9：入
BS11：入
BS13：切
BS15：切
選択 決定 終了

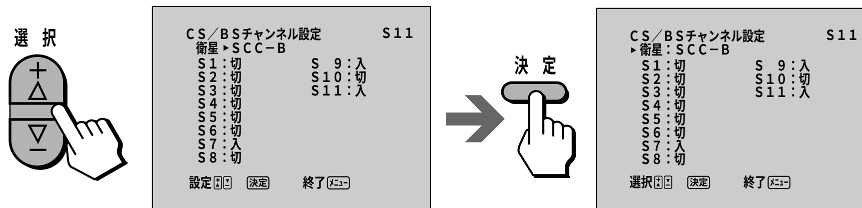
4 ▶が「衛星」にあることを確認して、決定ボタンを押す。

CS／BSチャンネル設定 BS7
▶衛星：BS
BS 1：切
BS 3：切
BS 5：入
BS 7：入
BS 9：入
BS11：入
BS13：切
BS15：切
選択 決定 終了

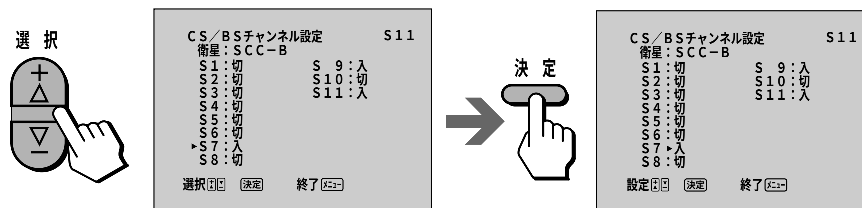


CS／BSチャンネル設定 BS7
衛星▸BS
BS 1：切
BS 3：切
BS 5：入
BS 7：入
BS 9：入
BS11：入
BS13：切
BS15：切
設定 決定 終了

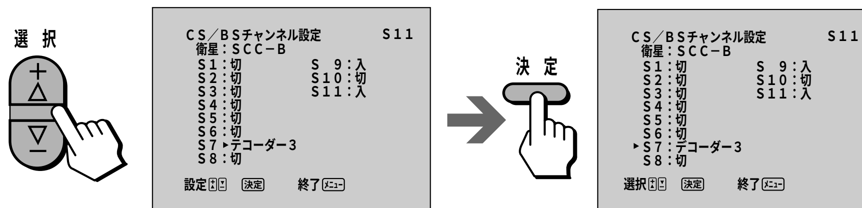
5 選択＋/－ボタンを押して、設定したい衛星を選び、決定ボタンを押す。



6 選択＋/－ボタンを押して、▶を設定したいチャンネルに移動し決定ボタンを押す。



7 選択＋/－ボタンを押して、「入」「切」「デコーダー1、2、3」の中から選び、決定ボタンを押す。



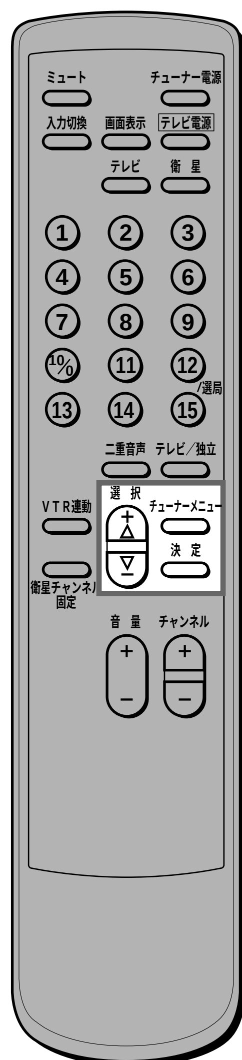
「入」：チャンネル＋/－ボタンで選べる
「切」：チャンネル＋/－ボタンでとばされる
「デコーダー」：チャンネル＋/－ボタンで選べ、かつ外部デコーダ入力1～3端子からの映像・音声に自動的に切り換わる

8 手順4～7を繰り返し、必要なチャンネルについて設定する。

9 すべての設定が終わったら、チューナーメニューボタンを押す。

メニュー画面が消えます。

衛星を設定する



CS/BS受信のための設定をする

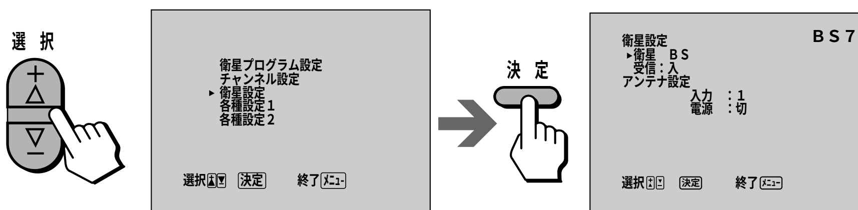
CS/BSアンテナをつないだときは、必ずメニューの「衛星設定」で必要な設定をしてください。設定を正しく行わないと、CS/BSを受信できません。

あらかじめCSまたはBSのチャンネルを選んでおいてください。

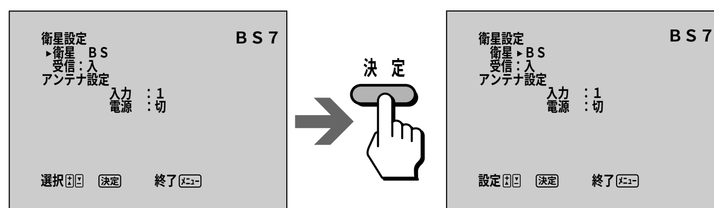
1 チューナーメニューボタンを押す。

メニューが出ます。

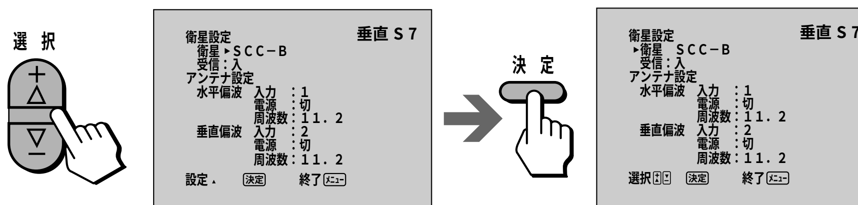
2 選択+/−ボタンを押して▶を「衛星設定」に移動し、決定ボタンを押す。



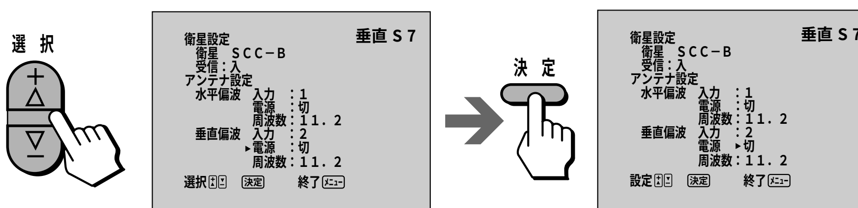
3 ▶が「衛星」にあることを確認して、決定ボタンを押す。



4 選択+/−ボタンを押して、設定したい衛星が出たら決定ボタンを押す。

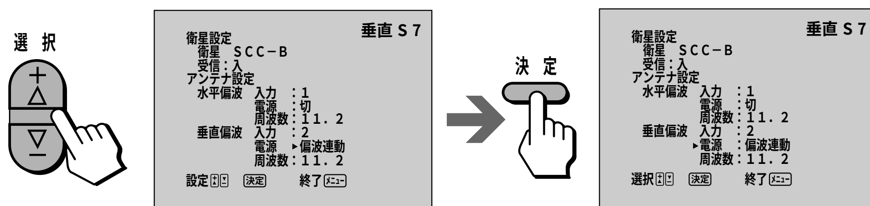


5 選択+/−ボタンを押して、設定する項目に▶を移動し、決定ボタンを押す。



6 選択＋/－ボタンを押してアンテナのつなぎかたに合わせた設定に切り換え、決定ボタンを押す。

アンテナのつなぎかたと設定変更については18～19ページの「CS/BSアンテナをつなぐ」をご覧ください。



7 手順5～6を繰り返して、他の項目も設定する。

8 設定が終わったら、チューナーメニューボタンを押してメニューを消す。

ご注意

手順4で選んだ衛星の「受信」の項目が「切」になっていると、アンテナ設定の表示が出ません。選択＋/－ボタンと決定ボタンで「入」にしてから、手順5を行ってください。

衛星設定の項目の内容

BS

入力…「1」または「2」：BSアンテナをつないだCS/BS IF入力端子を選びます。

電源…「切」：BSコンバーターに電源は供給されません。マンションなどの共聴システムのとき選んでください。
「連動」：チューナーに電源が入っているとき、BSコンバーターに電源を供給します。

SCC（SCC-B）

入力…「1」または「2」：SCC用のアンテナをつないだCS/BS IF入力端子を選びます。
「1-1」～「2-16」：別売りのインテリジェントアンテナセレクターEAC-AS3をお使いのとき選びます。
詳しくはEAC-AS3の取扱説明書をご覧ください。

電源…「切」：CSコンバーターに電源は供給されません。マンションなどの共聴システムのとき選んでください。
「連動」：チューナーに電源が入っているとき、CSコンバーターに電源を供給します。
「偏波連動」：電圧式偏波切換器をつないであるとき選びます。

周波数…「11.2」または「10.99」：コンバーターのローカル周波数（GHz）です。通常は「11.2」を選びます。
マンションなどの共聴システムのとき「10.99」を選びます。

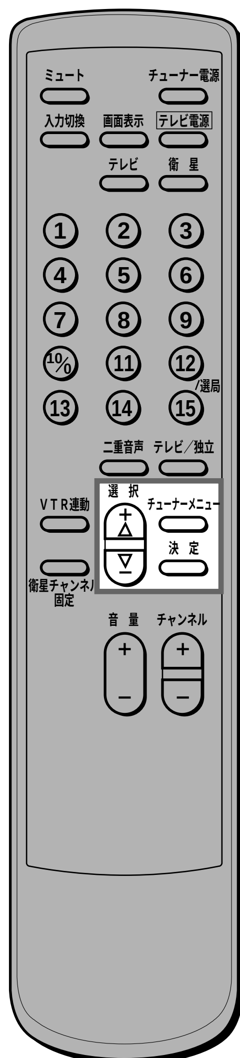
JCSAT（JCSAT2）

入力…「1」または「2」：JCSAT用のアンテナをつないだCS/BS IF入力端子を選びます。
「1-1」～「2-16」：別売りのインテリジェントアンテナセレクターEAC-AS3をお使いのとき選びます。
詳しくはEAC-AS3の取扱説明書をご覧ください。

電源…「切」：CSコンバーターに電源は供給されません。マンションなどの共聴システムのとき選んでください。
「連動」：チューナーに電源が入っているとき、CSコンバーターに電源を供給します。
「偏波連動」：電圧式偏波切換器をつないであるとき選びます。

周波数…「11.2」または「10.873」：コンバーターのローカル周波数（GHz）です。通常は「11.2」を選びます。マンションなどの共聴システムのとき「10.873」を選びます。

衛星を設定する（つづき）



新しい衛星放送を設定する

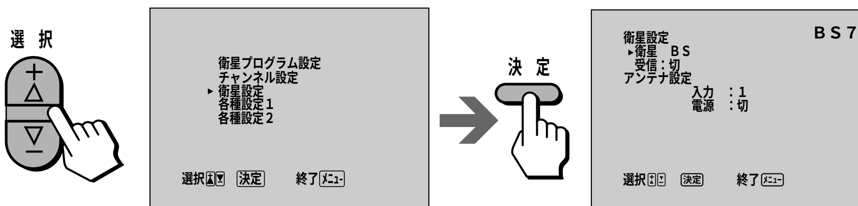
新しい衛星が増えたときのために、本機は「NEW」という衛星が選べるようになっています。新しい衛星を受信するためには、「NEW」に、その衛星のチャンネルの周波数、偏波面などを設定してください。

あらかじめCSまたはBSのチャンネルを選んでおいてください。

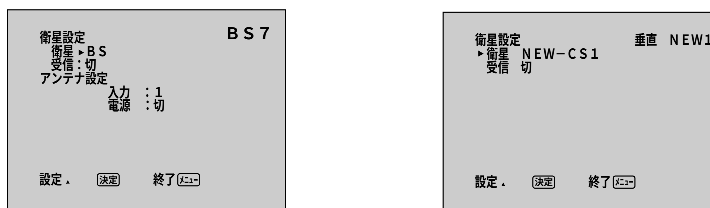
1 チューナーメニューボタンを押す。

メニューが出ます。

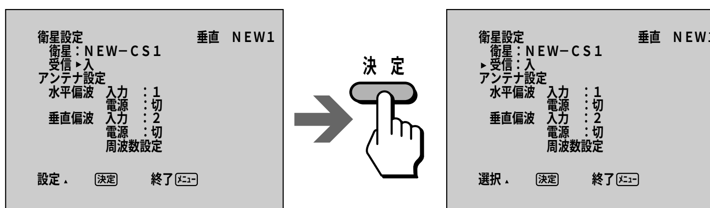
2 選択＋/－ボタンを押して▶を「衛星設定」に移動し、決定ボタンを押す。



3 ▶が「衛星」にあることを確認して、決定ボタンを押す。そして選択＋/－ボタンを押して、「NEW」が出たら決定ボタンを押す。



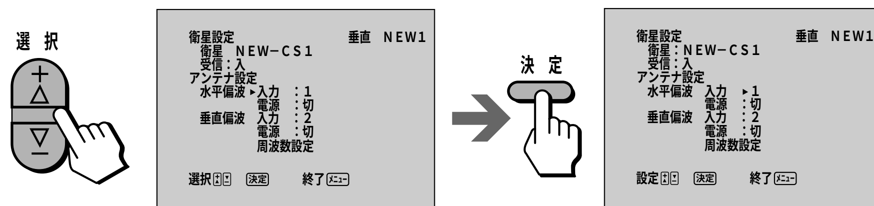
4 選択＋/－ボタンを押して、「受信」に▶を移動し、決定ボタンを押す。そして、選択＋/－ボタンを押して、「受信」を「入」にし、決定ボタンを押す。



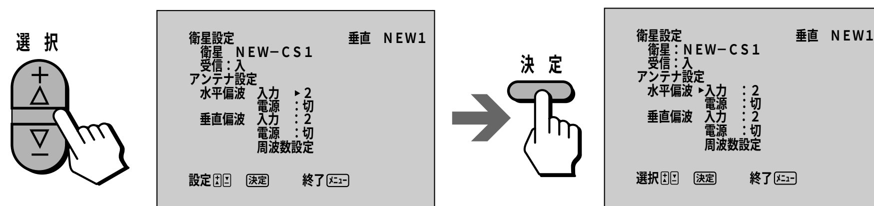
ご注意

スクランブルのかかっている放送をご覧になるには受信契約を結ぶ必要があります。なお、デジタル放送の受信はできません。

5 選択＋/－ボタンを押して「水平偏波　入力」に▶を移動し、決定ボタンを押す。

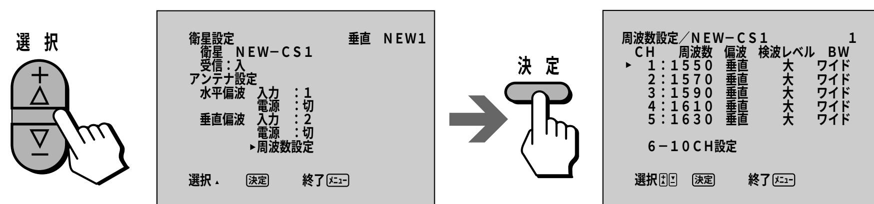


6 選択＋/－ボタンを押してアンテナのつなぎかたに合わせて設定し、決定ボタンを押す。



7 手順5～6を繰り返して、水平偏波、垂直偏波の他の項目も設定する。

8 選択＋/－ボタンを押して▶を「周波数設定」に移動し、決定ボタンを押す。



9 選択＋/－ボタンを押して、ご覧になるチャンネルへ▶を移動し、決定ボタンを押す。そして、周波数、偏波、検波レベル、BW（バンド幅）を、選択＋/－ボタンおよび決定ボタンを使って選ぶ。

周波数設定／NEW−CS1 1
CH 周波数 偏波 検波レベル BW
1：1550 垂直 大 ワイド
2：1563 水平 小 ノーマル
▸ 3：1590 垂直 大 ワイド
4：1610 垂直 大 ワイド
5：1630 垂直 大 ワイド
6−10CH設定
選択 決定 終了

10 設定が終わったら、チューナーメニューボタンを押してメニューを消す。

ワイドCSにより追加されたJCSATとスーパーバードのチャンネルとその周波数
設定するときは下の表を参考にしてください。

SCCB（検波レベル：大 BW：ワイド）		JCSAT2（検波レベル：小 BW：ノーマル）	
チャンネル	周波数	チャンネル	周波数
S12	1090	J16	1068
S13	1110	J17	1083
S14	1130	J18	1098
S15	1150	J19	1113
S16	1170	J20	1128
S17	1190	J21	1143
S18	1210	J22	1158
S19	1230	J23	1173
S20	1250	J24	1188
S21	1270	J25	1203
S22	1290	J26	1218
S23	1310	J27	1233
		J28	1248
		J29	1263
		J30	1278
		J31	1293
		J32	1308

・ローカルコンバーター周波数は11.2GHz時です。
（スーパーバードの周波数を設定して入れた例）

周波数設定／NEW−CS1 1
CH 周波数 偏波 検波レベル BW
1：1090 垂直 大 ワイド
2：1110 水平 大 ワイド
3：1130 垂直 大 ワイド
4：1150 水平 大 ワイド
5：1170 垂直 大 ワイド
▸ 6−10CH設定
選択 決定 終了

周波数 ：1300～1880MHz（1MHzきざみ）
偏波 ：「水平」または「垂直」
検波レベル ：「大（SCCに相当）」「中（BSに相当）」「小（JCSATに相当）」
BW ：「ワイド（SCC、BSに相当）」または「ノーマル（JCSATに相当）」

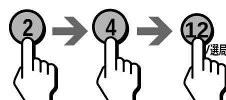
偏波とは
衛星からの信号の送られかたです。
BSからの信号は円偏波で送られてきており、CSからの信号は水平偏波（H）と垂直偏波（V）の2種類の方法で送られています。

選局方法を切り換える［10キー選局］見たいチャンネルが15を超えるとき

通常の選局方法（ダイレクト選局）のほかに、「10キー選局」という選局方法が用意されています。見たいチャンネルが15を超える場合などにお使いください。

10キー選局とは

チャンネルを1ケタずつ選ぶ方法です。
例えば、24チャンネルを選ぶときに



と押す選局方法です。

10/0 ……… 0を入力する
12 ……… 選局ボタン
の働きになります。



ダイレクト選局とは

チャンネルを直接選ぶ方法です。（例：14チャンネルなら⑭を押す）
ソニーで使っている選局方法は、このダイレクト選局のほかに10キー選局があります。このチューナーの場合チャンネルボタンが15個あるので、通常（各衛星、VHF/UHFでそれぞれ15以内の局をご覧になる場合）は、ダイレクト選局をお使いください。

10キー選局に切り換えるには

1 チューナーメニューボタンを押し、メニューを出す。

▸衛星プログラム設定
チャンネル設定
衛星設定
各種設定1
各種設定2
選択 決定 終了 メニュー

2 選択＋/－ボタンを押して▶を「各種設定2」に移動し、決定ボタンを押す。

「各種設定2」の画面が出ます。

各種設定2
▸選局 ：ダイレクト
CATV ：切
ACアウトレット ：非連動
検波／ビットストリーム：内部
アンテナレベル
設定リセット ：実行
選択 決定 終了 メニュー

3 選択＋/－ボタンを押して▶を「選局」に移動し、決定ボタンを押す。

各種設定2
選局 ▸ダイレクト
CATV ：切
ACアウトレット ：非連動
検波／ビットストリーム：内部
アンテナレベル
設定リセット ：実行
設定 決定 終了 メニュー

4 選択＋/－ボタンを押して「10キー」を出し、決定ボタンを押す。

各種設定2
▸選局 ：10キー
CATV ：切
ACアウトレット ：非連動
検波／ビットストリーム：内部
アンテナレベル
設定リセット ：実行
選択 決定 終了 メニュー

5 チューナーメニューボタンを押し、メニューを消す。

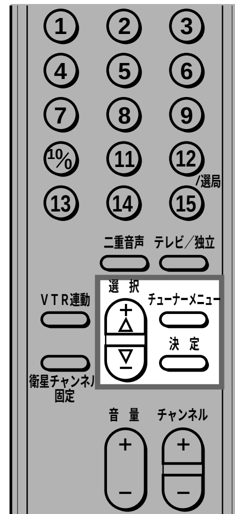
これで、選局方法の変更は終わりです。

選局方法をダイレクト選局に戻すには

手順4で、「ダイレクト」を選びます。

１０キー選局のときに、チャンネル＋/－ボタンで選べる局を設定するには

チャンネル＋/－ボタンで選べるチャンネルを増やしたり、放送のないチャンネルをとばしたいときは、次のように設定してください。



チャンネル＋/－ボタンで選べる局を増やすには

1 **チューナーメニューボタンを押し、メニューを出す。**

▸衛星プログラム設定
チャンネル設定
衛星設定
各種設定１
各種設定２

選択 決定 終了

2 **選択＋/－ボタンを押して▶を「チャンネル設定」に移動し、決定ボタンを押す。**

チャンネル設定
▸CS／BSチャンネル設定
V／Uチャンネル設定
V／Uチャンネル表示書換

選択 決定 終了

「チャンネル設定」の画面が出ます。

3 **選択＋/－ボタンを押して▶を「V/Uチャンネル設定」に移動し、決定ボタンを押す。**

V／Uチャンネル設定 10
▶1：入 9：切
2：切 10：入
3：入 11：切
4：入 12：入
5：切 13：切
6：入 14：入
7：切 15：切
8：入 16：入
17－32CH設定
選択 決定 終了

「V/Uチャンネル設定」の画面が出ます。

4 **選択＋/－ボタンを押して▶を見たいチャンネルに移動し、決定ボタンを押す。**

V／Uチャンネル設定 10
1：入 9：切
2：切 10：入
3：入 11：切
4：入 12：入
5：切 13：切
6：入 14：入
7▶切 15：切
8：入 16：入
17－32CH設定
設定 決定 終了

5 **選択＋/－ボタンを押し、見たいチャンネルを「入」にし、決定ボタンを押す。**

V／Uチャンネル設定 10
1：入 9：切
2：切 10：入
3：入 11：切
4：入 12：入
5：切 13：切
6：入 14：入
▶7：入 15：切
8：入 16：入
17－32CH設定
選択 決定 終了

6 **手順と4と5を繰り返して、見たいチャンネルをひとつずつ設定する。**

7 **チューナーメニューボタンを押し、メニューを消す。**

これで、設定は終わりです。

放送のないチャンネルをとばすには

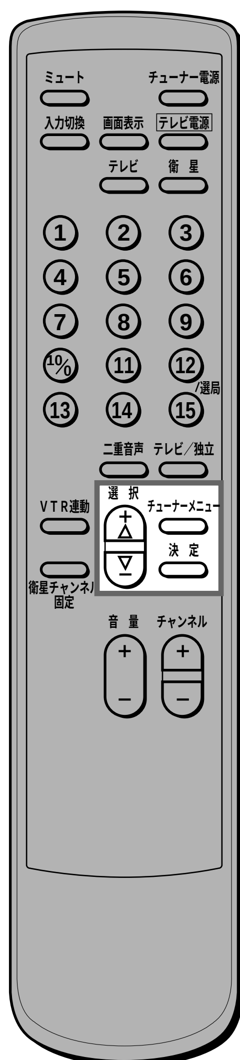
手順5で、「切」を選びます。

デコーダー専用ACアウトレットを切り換える

本機裏面のデコーダー専用ACアウトレットは、設定によって2つの使いかたができます。

・連動……本機の電源の入／切と同時に、アウトレットへの電源の供給が入／切される

・非連動…本機に電源プラグがコンセントにつないであれば、アウトレットに電源が供給される



1 チューナーメニューボタンを押し、メニューを出す。

▸衛星プログラム設定
チャンネル設定
衛星設定
各種設定1
各種設定2

選択 決定 終了

2 選択＋/－ボタンを押して▸を「各種設定2」に移動し、決定ボタンを押す。

「各種設定2」の画面が出ます。

各種設定2

▸選局 ：ダイレクト
CATV ：切
ACアウトレット ：非連動
検波／ビットストリーム：内部
アンテナレベル

設定リセット ：実行

選択 決定 終了

3 選択＋/－ボタンを押して▸を「ACアウトレット」に移動し、決定ボタンを押す。

各種設定2

選局 ：ダイレクト
CATV ：切
ACアウトレット ▸非連動
検波／ビットストリーム：内部
アンテナレベル

設定リセット ：実行

設定 決定 終了

4 選択＋/－ボタンを押して「連動」または「非連動」を出し、決定ボタンを押す。

各種設定2

選局 ：ダイレクト
CATV ：切
▸ACアウトレット ：連動
検波／ビットストリーム：内部
アンテナレベル

設定リセット ：実行

選択 決定 終了

5 チューナーメニューボタンを押し、メニューを消す。

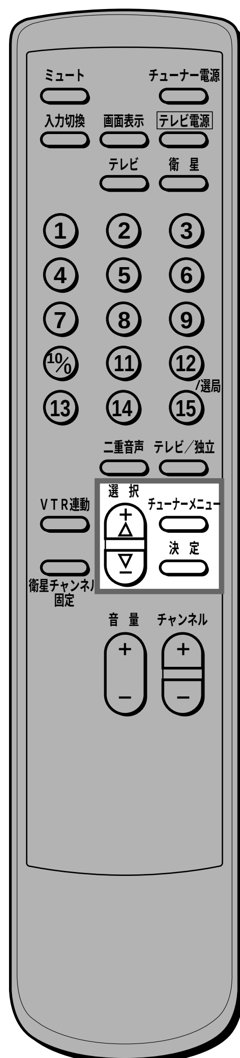
ご注意

デコーダー専用のACアウトレットです。モニター（テレビ）などにはつながないでください。

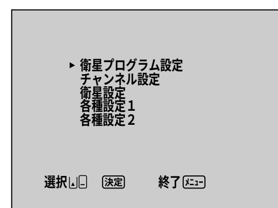
検波/ビットストリーム出力を切り換える

本機裏面の検波出力・ビットストリーム出力（外部デコーダー出力）端子は、設定によって信号の出かたが変わります。

・内部……CS/BS IF入力端子から入った信号を出力します。
・外部……外部入力（検波、ビットストリーム）端子から入った信号を出力します。
・デコーダー連動……BSデコーダーなどを本機とほかのBS内蔵ビデオなどで共用するとき使います。デコーダー1、2、3に設定してあるチャンネルを選んだときは「内部」になり、それ以外は「外部」出力になります。

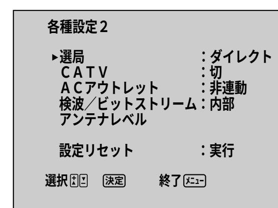


1 **チューナーメニューボタンを押し、メニューを出す。**

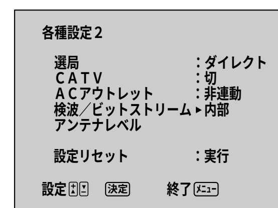


2 **選択+/−ボタンを押して▶を「各種設定2」に移動し、決定ボタンを押す。**

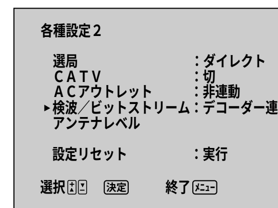
「各種設定2」の画面が出ます。



3 **選択+/−ボタンを押して▶を「検波/ビットストリーム」に移動し、決定ボタンを押す。**



4 **選択+/−ボタンを押して、「内部」、「外部」または「デコーダー連動」を出し、決定ボタンを押す。**



5 **チューナーメニューボタンを押し、メニューを消す。**

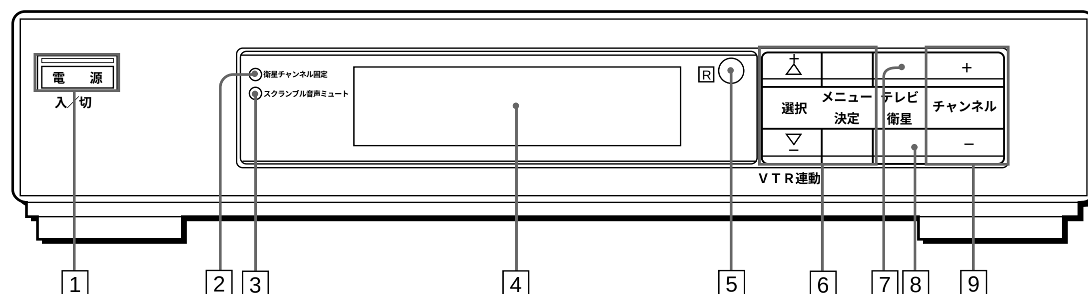
検波とは

衛星から送られてきた信号そのものを取り出すことです。この信号には映像と音声のすべての情報が含まれています。

ビットストリームとは

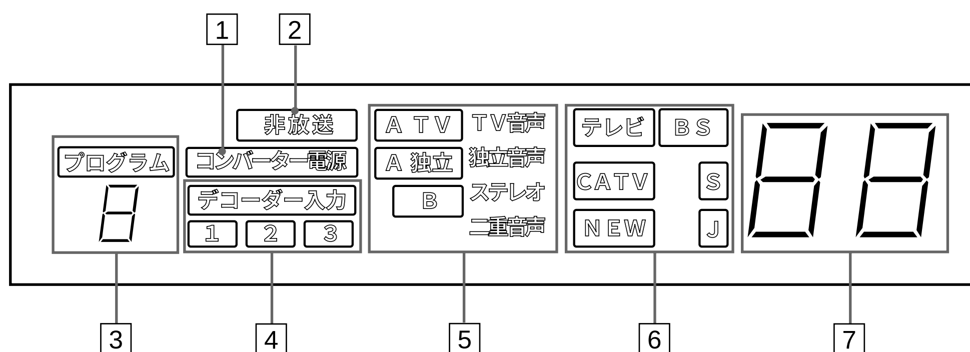
衛星放送の電波で送られてくる音声のデジタル信号です。音声とその他のデータがデジタル化されてます。

付録APPENDIX



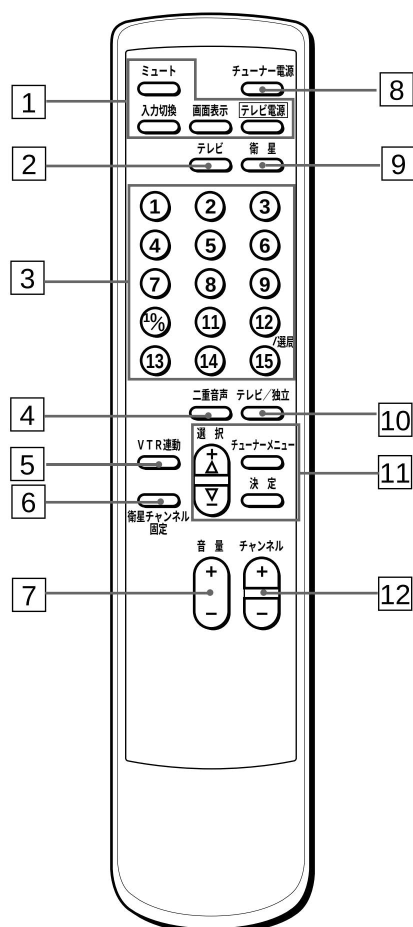
Front panel

1 Power switch/Power lamp
2 Satellite channel fixed lamp
3 Scrambled sound
4 Display window
5 Remote control sensor
6 Menu function
Enter button
Select buttons*
Menu button
* The ミ button works as VTR on-line button when the menu is not appeared.
7 TV button
8 Satellite button
9 Channel +/ミ button



Display window

1 Converter power
2 Non-broadcasting
3 Program
4 Decorder input
5 Sound mode
6 Satellite
7 Channel



Remote Commander RM-J136

1 Monitor controls
  Display (Current mode, Channel) button
  Muting button
  Input mode
  TV power button
2 TV button
3 Channel number button
4 Audio mode (Bilingual) button
5 VTR on-line button
6 Satellite channel fix button
7 Volume +/ミ button
8 Tuner power button
9 Satellite button
10 TV/ADD sound select button
11 Menu function
  Menu button
  Select button
  Enter button
12 Channel number buttons

その他

その他

主な仕様

受信方式	NTSCカラー 周波数シンセサイザー選局方式
受信チャンネル	VHF　：1～12 UHF　：13～62 CATV ：C13～C35 BS　 ：1、3、5、7、9、11、13、15 SCC　：S1～S11（SCC-A、SCC-B） JCSAT：J1～J15（JCSAT1、2） NEW　：1～15ch（NEW-CS1、2）（1300～1880MHz）
アンテナ入力	VHF/UHF：75ΩF型コネクター CS/BS IF ：75Ω F型コネクター、2系統 （コンバーター電源出力DC15V、偏波連動時11V、最大4W、芯線側＋、連動/切 切り換え）
AFC入力	ピンジャック、75Ω
検波出力	ピンジャック、0.67Vp-p、75Ω 基準（映像変調）BS：17.0MHzp-p SCC：18.0MHzp-p JCSAT：15.8MHzp-p
外部入力	検波：ピンジャック75Ω（接続時） ビットストリーム入力：ピンジャック75Ω（接続時）
外部デコーダー出力	検波：ピンジャック75Ω（接続時） ビットストリーム：ピンジャック75Ω（接続時） 映像：ピンジャック　75Ω
外部デコーダー入力1、2、3	映像：ピンジャック、75Ω 音声：ピンジャック、22kΩ以上
CS/BS出力	映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω 不平衡、同期負 音声：ステレオピンジャック、平均出力レベル250mVrms、最大出力レベル2.0Vrms、S/N 110dB以上、出力インピーダンス　270Ω
ライン出力1、2	映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω 不平衡、同期負 周波数特性：50Hz～4.5MHz 音声：ステレオピンジャック、出力インピーダンス　270Ω
コントロールS入力	ミニジャック
コントロールS出力	ミニジャック
デジタル音声出力	同軸：ピンジャック（EIAJ）（同軸） 光：角型コネクター
電源	AC100V、50/60Hz
消費電力	24W（スタンバイ時　5W）
使用温度	0℃～35℃
電源コンセント	デコーダー専用ACアウトレット：電源スイッチと連動／非連動（切り換え）、最大300W VTR専用ACアウトレット：電源スイッチと非連動、最大100W
最大外形寸法	430×86×345（幅×高さ×奥行き）mm
質量	4.4kg
付属品	リモートコマンダー（1） 乾電池（SUM-3　単3）（2） ビデオケーブル（1） オーディオケーブル（1） アンテナコネクター（1） V/Uミキサー（1） チャンネルラベル（1） 取扱説明書（1） サービス窓口・ご相談窓口のご案内（1） 保証書（1）

- このチューナーは日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

お買い上げ時の設定

- **「入」になっているチャンネル**
  VHF：1～12
  BS：5、7、9、11
  SCC-B：S7、S9、S11
  JCSAT：J1、J5、J7
- **「受信」になっている衛星**
  BS、SCC-B、JCSAT2
- **各種設定1**

各種設定1

▸衛星チャンネル固定　：切
チャンネル表示　：切換時表示
フロント表示　：入
二重音声　：主
衛星音声選択　：テレビ
オートステレオ　：入

選択　決定　終了 メニュー

- **各種設定2**

各種設定2

▸選局　：ダイレクト
CATV　：切
ACアウトレット　：非連動
検波／ビットストリーム：内部
アンテナレベル

設定リセット　：実行

選択　決定　終了 メニュー

別売りアクセサリー

CSアンテナ（コンバーター付き）	SAN-60C2（60cm） SAN-75C2（75cm） SAN-75CD2（75cm） SAN-50C3（50 cm）	
BSアンテナ （BSコンバーター付き）	SAN-37J2（37cm） SAN-37K2SET SAN-50HD2	
サテライト用同軸テーブル	SAK-C30（30m） SAK-C20（20m） SAK-C10（10m）	屋外側　チューナー側
その他	アンテナ取り付け金具 ANJ-K1（壁面タイプ） ANJ-B1（ベランダタイプ） サテライト分配器 EAC-BC2 EAC-BC4 サテライト/UV混合分波器 EAC-BCUV	サテライトラインブースター BO-BC20 インテリジェントアンテナセレクター EAC-AS3 デコーダーセレクター SB-J2 防水F型コネクター EAC-WP4C EAC-WP5C

CSアンテナを選ぶときは

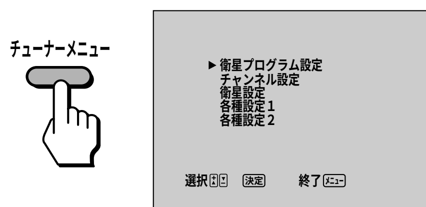
CSからの電波は送信電力がBSからのものに比べて1/3〜1/5と弱いため、一般的には、同等の画質・音質を得るためにはBS用のアンテナに比べて大きなサイズのアンテナが必要です。より良い画質を得るためにはアンテナの設置環境の許す限り大きなサイズのアンテナの設置をおすすめします。衛星からの電波は雨、雪、厚い雲などによっても通常の地上電波と異なり減衰が大きく、大きな影響を受けます。この影響を少なくするためには可能な限り利得の大きい、大きなアンテナを設置することが望ましいわけです。

メニュー画面について

本機では、メニュー画面を使って操作や設定を行います。
ここではメニュー画面の概要を説明します。詳しくはそれぞれの項目のページをご覧ください。

メニュー画面の構造

リモコンのチューナーメニューボタンを押すと、メニュー選択画面が出ます。



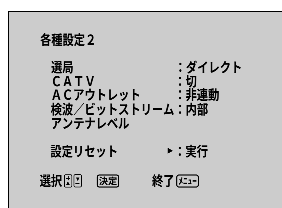
メニュー画面で使うボタン

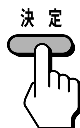
ボタン	目　　　的
チューナーメニュー	メニュー画面を出したり、メニュー画面を消す。
＋ △	メニュー画面のカーソル▶を下に動かす。または、設定内容を選ぶ。
▽ −	メニュー画面のカーソル▶を上に動かす。または、設定内容を選ぶ。
決 定	メニューの内容を決定する。

設定リセットについて

設定リセットを行うと、すべての設定が解除され、お買い上げ時と同じ状態に戻ります。

1 メニューで「各種設定2」を選び決定ボタンを押す。
2 選択＋/－ボタンで「設定リセット」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋/－ボタンで「設定リセット：実行」を選び、決定ボタンを押す。

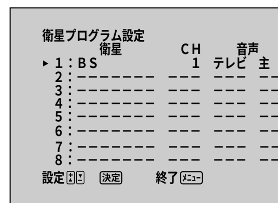




メニュー画面

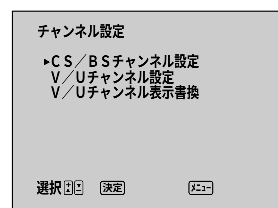
詳しくは（　）内のページをご覧ください。

衛星プログラム設定



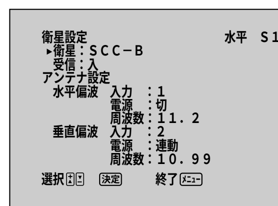
CS/BS放送をタイマー録画するために、衛星・チャンネル・音声モードを設定します。（10～13）

チャンネル設定



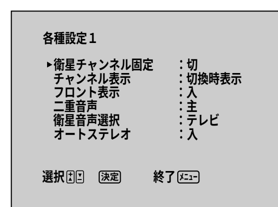
チャンネル+/－ボタンでとばすチャンネルやデコーダー入力の切り換え、画面に出るチャンネル表示を設定します。（26～32、34～35、41）

衛星設定



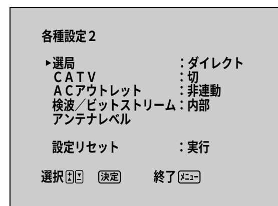
衛星放送を受信するための設定をします。
（36～37）
新しい衛星放送を見るときもこの設定をします。
（38～39）

各種設定1



衛星チャンネル固定（7）、
チャンネル表示（33）、
フロント表示（33）、
衛星音声選択（9）、
オートステレオ（6）
の切り換えと設定をします。

各種設定2



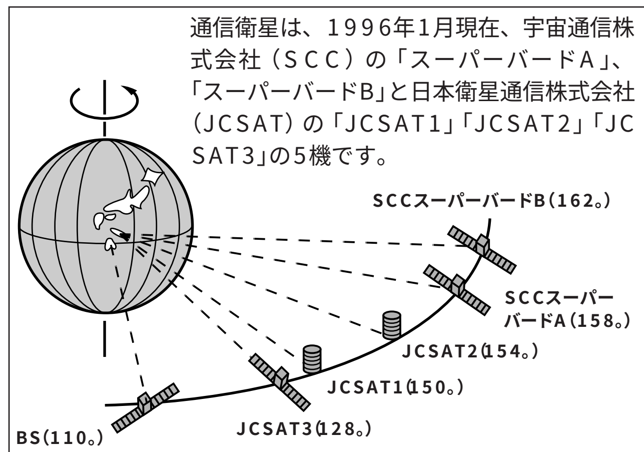
選局方法（40）、CATV受信（28）、ACアウトレットの切り換え（42）、検波/ビットストリームの切り換え（43）と、設定リセットの選択をします。

CS/BSの概要

通信衛星（CS）と放送衛星（BS）について

衛星の位置

通信衛星は日本の南東の東経150。〜162。、放送衛星は日本の南西の東経110。の赤道上空約36,000kmの静止軌道に打ち上げられています。アンテナを衛星の方向に合わせて正しく設置しておけば、衛星から送られてくる電波を直接受信するので、ゴースト（多重像）のないきれいな画像をお楽しみいただけます。



音声Aモード・Bモードについて

CS/BS放送の音声はPCM（Pulse Code Modulation）変調のデジタル音声であるため、非常に高音質です。音声伝送方式にはAモード・Bモードという2種類があり、番組の内容によって使い分けられていて、本機では自動的に切り換わります。

Aモードの特徴

音質：FM放送とほぼ同等

チャンネル数：4 ｛2チャンネル　テレビ音声（L・R）
2チャンネル　独立音声（L・R）
（送信されていない場合もあります）｝

サンプリング周波数：32kHz

量子化：14/10ビット　準瞬時圧伸方式

独立音声信号は、Aモードで送られる、テレビ音声とは別の内容の信号です。（1996年1月現在、CSでは放送されていません）

Bモードの特徴

音質：CD（コンパクトディスク）とほぼ同等

チャンネル数：2チャンネル　テレビ音声（L・R）

サンプリング周波数：48kHz、量子化：16ビット　直線量子化

CS放送とBS放送の番組供給のしかた

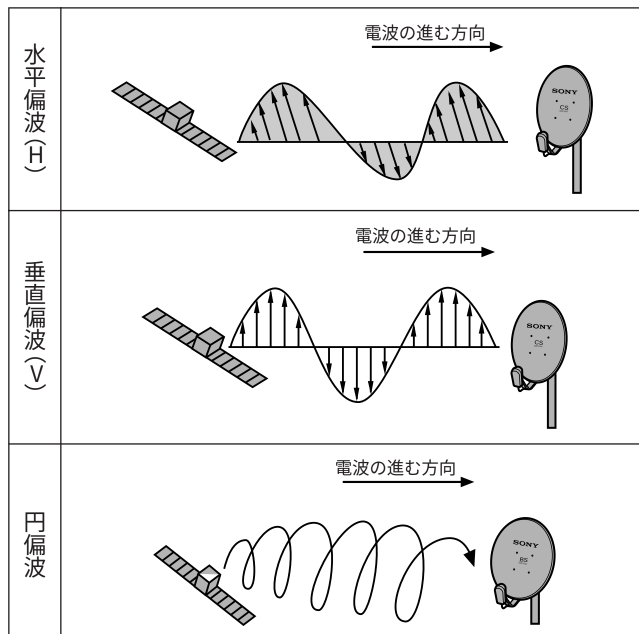
1996年1月現在、CS放送ではSCCBに23チャンネル、JCSAT2に32チャンネル分の回線があります。そのうちSCCBは8チャンネル、JCSAT2は5チャンネルの放送が行われています。

CS放送では、ニュース・映画・音楽・スポーツなど、チャンネルごとにそれぞれ専門の番組を放送しています。これらの番組にはスクランブル（暗号）がかかっています。スクランブルを解除するには契約が必要です。スクランブルは番組ごとに解除することができます。

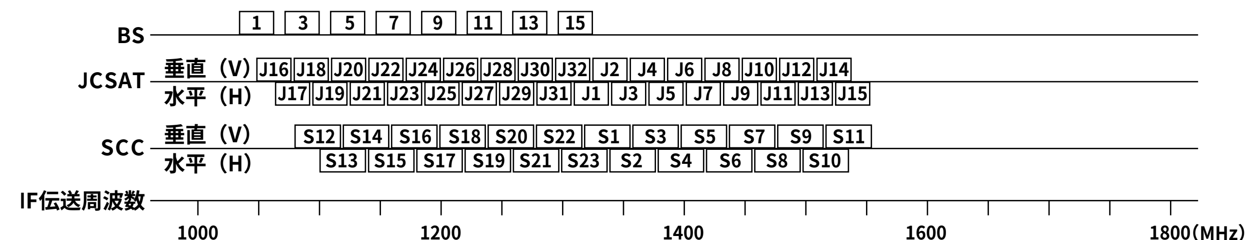
BS放送では、BS5、7、11の3チャンネルで放送が行われています。また、BS9ではハイビジョンの実用化試験放送が行われています。これらのCS/BS放送を受信するには契約が必要です。

CS放送とBS放送の電波のちがい

BS放送は円偏波ですが、CS放送には水平偏波と垂直偏波があり、チャンネルによってちがいます。



チャンネル配列図

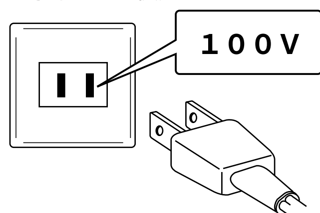


正しくお使いいただくために

安全上のご注意

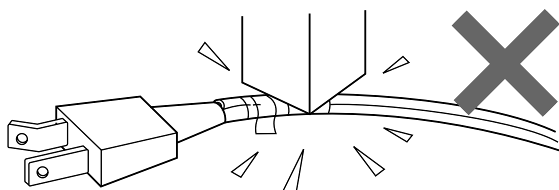
電源について

家庭用電源コンセント(AC100V)につないでご使用ください。
国内用ですので海外ではご使用になれません。

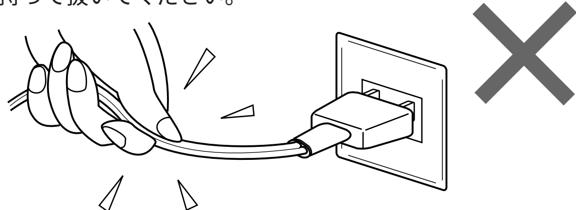


電源コードについて

電源コードを無理に曲げたり、上に重い物をのせたりしないでください。コードに傷がついて火災や感電の原因になります。
傷がついたコードは使わないでください。



電源コードを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずプラグを持って抜いてください。

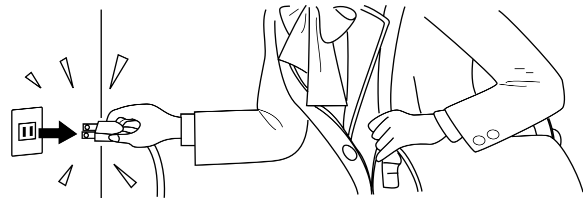


VTR専用ACアウトレットについて

消費電力が100W以下のビデオデッキの電源コンセントとしてお使いください。これ以外の電気製品(アイロン、炊飯器、電子レンジ、クーラーなど)は絶対に接続しないでください。
またこのときビデオ側のACアウトレットには、何もつながないでください。

留守にするときは

ご旅行などで長い間ご使用にならないときは、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。



重いものをのせないでください

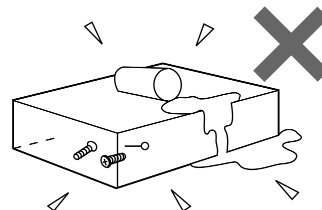
キャビネットをいためたり、故障の原因になります。

感電を防ぐために

キャビネットは、絶対にはずさないでください。
内部に手を触れると感電することがあり危険です。
本体のお手入れのときは、万一の感電を防ぐため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

異物について

内部に液体をこぼしたり、燃えやすいものや、金属類を落とさないでください。そのまま使用すると火災や感電、故障、事故の原因となります。



異常や不具合が起きたら

万一異常や不具合が起きたとき、異物が中に入ったときは、電源を切り、電源コードを必ずコンセントから抜いて、すぐにお買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

取り扱い上のご注意

避けてほしい場所

このチューナーを長い間お使いいただくために次のような場所での使用および保存は避けてください。

- 極端に暑い所や寒い所
- 湿気の多い所
- ほこりの多い所
- 激しい振動のある所

放熱について

内部の温度上昇を防ぐため本機上面および底面に放熱孔があいています。ご使用中には次のことにご注意ください。

- 放熱孔はふさがないでください。
- ラックに収納する際は通気に十分気をつけてください。
- ビデオ機器などと重ねるときは、本機を上に置いてください。

お手入れ

キャビネットは、柔らかい布でふいてください。
キャビネットの汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れをふきとります。このあと乾いた布でカラぶきしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは、表面の仕上げをいためますので使わないでください。

故障とお考えになる前に

CS/BSが映らない/乱れている。音が出ない。	**CS/BSアンテナを直接つないでいる場合** ・コンバーター電源を「連動」または「偏波連動」に設定してありますか？（36〜37ページ） ・サテライト用同軸ケーブルのアンテナ側は防水になっていますか？（47ページ） ・アンテナの大きさは適切ですか？（47ページ） ・アンテナの前方に障害物はありませんか？（19ページ） **CS/BSアンテナに分配器を使っている場合** コンバーター電源を供給する機器が、「連動」または「偏波連動」になっていますか？ **ブースターを使っている場合** ・ブースターのつなぎかたは正しいですか？ ・ケーブルの芯線は、コネクターに正しく入っていますか？ **マンションなどの共聴システムの場合** ・コンバーター電源は「切」に設定されていますか？（36〜37ページ） ・VHF/UHFとCS/BSが1本のケーブルになっている場合、分波器を使っていますか？ ・ケーブルの芯線は、コネクターに正しく入っていますか？ **その他** ・スクランブル音声ミュートランプはついていませんか？（4ページ） ・非放送表示は出ていませんか？（4ページ） ・放送時間を確認してください。 ・天候の影響ではありませんか？（19ページ） ・サテライト機器用のケーブルを使っていますか？（47ページ） ・アンテナコネクター（バルーン）を使っていませんか？ ・ハイビションの実用化試験放送中ではありませんか？
二重音声ボタンを押しても、主あるいは副を選べない。	・二重音声放送は送信されていますか？ ・デコーダーを使っているときは、デコーダー側で操作してください。
タイマー録画（録音）で希望番組が録れなかった。	・ビデオデッキの入力切り換えは正しく設定されていましたか？ ・プログラム設定は正しくしてありましたか？
通常のテレビ放送を見ているとき、画面にビート（縞状のノイズ）が出る。	・アンテナ端子の接続には、75Ω同軸アンテナケーブルを使用してください。 ・CS/BS/TVチューナー本体やケーブルを、テレビのアンテナケーブルからできるだけ離してください。
スクランブルの画面が解除しない。	・デコーダーをつないでいますか？（24ページ） ・そのチャンネルは「デコーダー入力」に設定してありますか？（34〜35ページ）
VHF/UHFで雲が降るような画面、うすい画面、風がふくとちらつく。	・アンテナが、風でこわれたり曲がったりしていませんか？ ・アンテナの寿命ではありませんか？通常3〜5年、海辺では1〜2年です。 ・アンテナ線がはずれていませんか？（16〜19ページ）
VHF/UHFではん点や点模様が走る。	ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波が原因です。 ・アンテナは、なるべく道路から離してください。
VHF/UHFで画像が二重、三重になる。	・アンテナ線がはずれかかっていませんか？ 山やビルで反射した電波がアンテナに飛び込み、画像が二重、三重になることがあります。 ・アンテナの位置、方向、角度を調整してください。 ・突然画像が二重、三重になった場合は、お買い上げ店などにご相談ください。
特定のチャンネルだけがきれいに映らない。	・チャンネルを合わせ直してみてください。（26〜29ページ）
リモコンの数字ボタンを押してもチャンネルが選べない。	ダイレクト/10キー選局の設定によって、チャンネルの選びかたが違います。 **ダイレクト選局の場合** ・ダイレクト/10キー選局が「ダイレクト」になっていますか？（40ページ） **10キー選局の場合（40〜41ページ）** ・ダイレクト/10キー選局が「10キー」になっていますか？ ・11チャンネルは①を2回、12チャンネルは①と②を続けて押しましたか？ ・最後に続けて⑫/選局を押しましたか？ ・リモコンの電池が消耗していませんか？（5ページ）

上記の項目を試してみても異常がある場合は、メニューで設定リセットを行ってください。（48ページ）

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げの店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを ➡	「故障とお考えになる前に」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。
それでも具合が悪いときはサービス窓口へ ➡	お買い上げ店、または添付の「サービス窓口・ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
保証期間中の修理は ➡	保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理は ➡	修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、CS/BS/TVチューナーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。
なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導によるものです。

ご相談になるときは
次のことを
お知らせください。

型名：SAT-900TV
故障の状態：できるだけくわしく
購入年月日：

お買い上げ店 **TEL.**
お近くのサービスステーション **TEL.**

ソニー株式会社　〒141 東京都品川区北品川6-7-35
お問い合わせはお客様ご相談センターへ **●東京(03)5448-3311●名古屋(052)232-2611●大阪(06)539-5111**

Printed in Japan

SONY SAT-900TV (J) 3-756-740-04